



「新潟発 わくわく教育ファーム」

アグリ・スタディ・プログラム改訂版

概要版

平成27年10月

新潟市・新潟市教育委員会

「新潟発 わくわく教育ファーム」

アグリ・スタディ・プログラム

改訂版

概要版



平成27年10月

新潟市
新潟市教育委員会

目 次

はじめに	新潟市長	篠田 昭	1
改訂版 発刊の言葉	新潟市教育委員会教育長	前田秀子	2
I 基本構想（要約）			3
1 「これから」を生き抜く子どもたちのために			
2 基本的考え方			
3 支援体制の整備			
II プログラム（抜粋）			9
プログラム一覧			
プログラムの見方			
1 小学校編			
2 中学校・中等教育学校編			
III 資料（抜粋）			40
あとがき	新潟市教育委員会教育政策監	伊藤 充	47

本概要版は、「アグリ・スタディ・プログラム」（改訂版）を以下のように要約・抜粋して作成しました。

- ・「I 基本構想」については、要約して掲載しました。
- ・「プログラムの見方」については、改訂版と同じものを掲載しました。
- ・「II プログラム」については、小学校編、中学校・中等教育学校編から各1編を抜粋して掲載し、特別支援学校編、幼稚園・保育園編、適応指導教室編、PTA編については省略しました。なお、プログラムの全容が分かるように、「プログラム一覧」は同じものを掲載しました。
- ・「III 資料」からは、学年・時期別プログラム一覧、「アグリパークの概要」、「いくとぴあ食花の概要」、「『アグリ・リレー・プロジェクト』とは？」を掲載しました。

(イラスト ますこさとみ)

「新潟発 わくわく教育ファーム」 アグリ・スタディ・プログラム 改訂版 概要版

発行	平成27（2015）年10月30日
編集者	新潟市教育委員会
発行者	新潟市 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 新潟市教育委員会 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
印刷者	髙ウィザップ

はじめに

大合併から11年目、政令指定都市移行から9年目を迎えた今年、平成27年度から平成34年度までの8年間における本市の目指す姿（都市像）を示す新たな総合計画「にいがた未来ビジョン」を作成しました。

現在、「地方創生」が叫ばれる中、地域の特色を生かした持続的なまちづくりを進めることがより一層重要となるため、本市においては、農業が盛んな地域と大消費地が近接する特徴を生かした「田園型政令市」のまちづくりをさらに形作っていくことが求められています。

本市は、農業を生かした取組や今後の可能性が評価され、平成26年5月には、「大規模農業の改革拠点」をテーマとして、国家戦略特別区域に指定されました。

しかしながら、現在農業を取り巻く環境には、農業者の高齢化や担い手の減少、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）など、多くの課題が見られます。

これらの課題を解決する取組の一つが「新潟発 わくわく教育ファーム」です。子どもから大人まで市民誰もが農や食に関する体験を通じて、農業への興味・関心を高め、消費者と生産者が互恵の関係を築くことで農業の活性化を図るものです。

その中心的な役割を担うものが学習指導要領の内容に基づいて学習と農業体験を結びつけた農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」です。

教育委員会と協働で、昨年6月にグランドオープンした「いくとびあ食花」や日本初の宿泊型公立教育ファームである「アグリパーク」の整備に合わせて第1版を策定し、今年の7月に追補版となる補遺編を策定しました。

第1版策定から1年以上が経過し、これまでの農業体験学習の実績を踏まえ、より学習課題やまとめを意識した内容に改訂したものが、今回の改訂版です。

この改訂版に基づいて市内全小学校での農業体験学習を継続し、本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇りを育むとともに、子どもたちの学力向上も図っていきます。

原体験が少ない現代社会に生きている子どもたちにとって、五感全てを使うことができる農業体験は今後ますます重要となってきます。本市では、私たちが普段食べている物の価値やその背景を知る食育、食べ物の生産に関わっている人の生きざまを知るキャリア教育なども併せて行うことで、子どもたちの「生きる力」を育むために農業体験から農業体験学習に高めた取組を新潟から全国に発信していきます。

結びに、本改訂版の作成にあたり、貴重なご意見を頂戴しました保育園・幼稚園、学校関係の皆さまや関係各位に、心より感謝申し上げますとともに、プログラムの推進にあたり、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成27年10月

新潟市長 篠田 昭



改訂版 発刊の言葉

新潟市教育委員会では、『新潟市教育ビジョン第3期実施計画』を平成27年3月に策定しました。これまでの前・後期実施計画の成果を受け、「学・社・民の融合による教育」をビジョンの根幹に据え、「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」の実現に向け、教育施策を推進しています。

第3期実施計画では、これまでの計画達成状況や社会情勢の変化などを踏まえ、基本構想や基本計画を原則的に継続する施策「NEXT」とともに、新たな視点による施策「NEW」を位置付けました。

これまで、体験活動については「豊かな心と健やかな体の育成」の施策として自然体験などの体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むことに重きを置いていました。第3期実施計画では、体験活動を「アグリ・スタディ・プログラムの推進」と明示するとともに、「確かな学力の向上」のための施策として位置付けました。実感の伴った確かな学びを実現するための取組としたのです。このことにより、子どもは持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決するとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にすることができるようになります。そして新潟市の特徴である農業の素晴らしさに気づき、ふるさとを愛し、誇りに思う心を自ら育むことにつながっていくのです。

農業体験活動を教科等の学習に生かすことができるように、平成26年6月、『アグリ・スタディ・プログラム』を発行しました。このプログラムを受けて、学校教育田、学校教材園、近郊の農家、いくとびあ食花、そしてアグリパークで農業体験学習が行われてきました。平成27年6月には、プログラムの数を増やした補遺編を発行しました。今回の改訂では、これらのプログラムを統合するとともに、それぞれの指導計画に学習課題とまとめの例を明示しました。

新潟市の小・中学校では、「学習課題」と「まとめ」を、授業改善の重要な視点として、継続的、組織的に取り組んでいます。『アグリ・スタディ・プログラム』による農業体験学習にも「学習課題」と「まとめ」を取り入れることで、より充実した学びを具現することができ、第3期実施計画が目指す教育の実現につながるものと期待しています。

最後に、『アグリ・スタディ・プログラム』の執筆、改訂にご尽力いただきました教員の皆様、パイロット校の児童・生徒や保護者の皆様、アグリ・スタディ・プログラム検討委員の皆様をはじめ、多くの皆様からご協力いただいたことに深く感謝を申し上げます。

平成27年10月

新潟市教育委員会教育長 前田 秀子



I 基本構想（要約）

1 「これから」を生き抜く子どもたちのために

子どもたちは、これから次のような時代や社会、世界の中を生き抜いていかなければなりません。



各学校が地域や児童・生徒の実態に応じて農業体験を各教科等の学習に位置付けることにより、新潟市の子どもたちが農業のすばらしさに気づき、命や人との絆を大切に、ふるさと新潟を愛し誇りに思うとともに、持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決していく力を高めることが期待されます。すなわち、生きる力を高めることが期待されるのです。

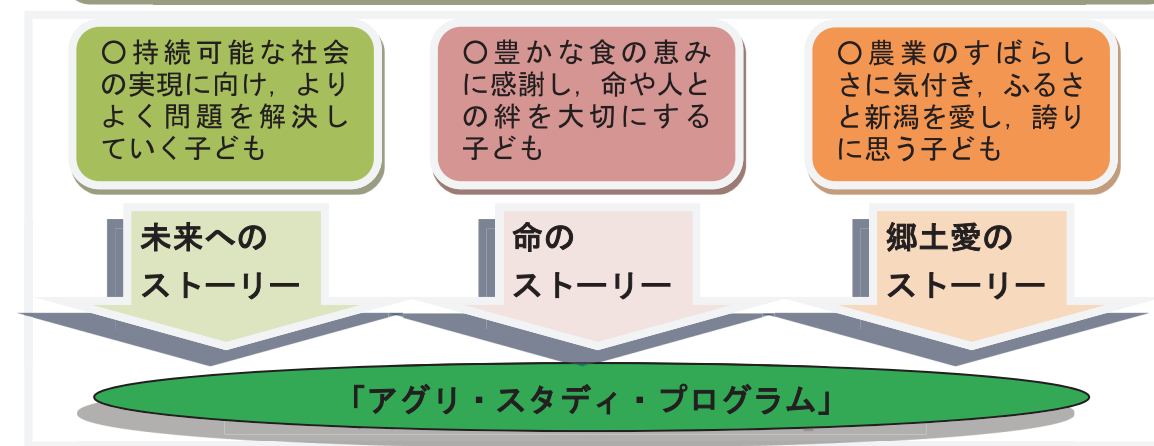
これを実現するために「アグリ・スタディ・プログラム」を策定しました。

2 基本的考え方

(1) 「アグリ・スタディ・プログラム」の目的

目的は、新潟市教育ビジョンの五つの扉の一つである「確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくみます」の実現です。期待する姿は次の通りです。

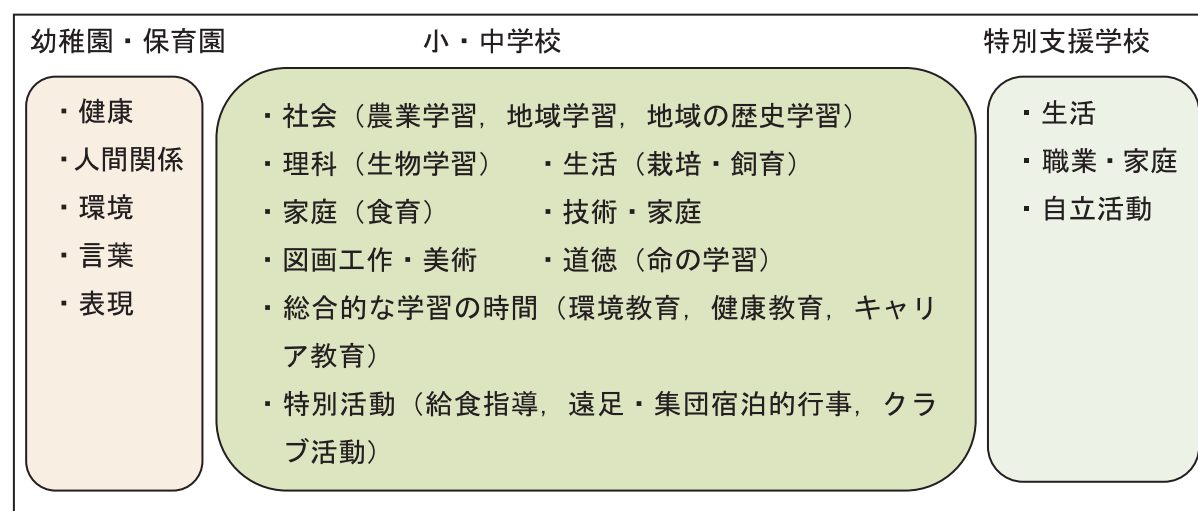
- 持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決していく子ども
- 豊かな食の恵みに感謝し、命や人との絆を大切に子ども
- 農業のすばらしさに気づき、ふるさと新潟を愛し、誇りに思う子ども



(2) 教育課程上の位置付け

「アグリ・スタディ・プログラム」に関わる各教科等

* 文部科学省「学習指導要領」「幼稚園教育要領」、厚生労働省「保育所保育指針」から作成



それぞれの教科等について、農業体験を生かした単元等を構成し、学校種ごとに編成し、基本プログラムを収録しました。

- 1 小学校編 2 中学校・中等教育学校編 3 特別支援学校編
4 幼稚園・保育園編 5 適応指導教室編

各プログラムについて学習指導要領上の位置付けを明確にすることで、各学校が地域や児童・生徒の実態に応じて選択的に農業体験学習を教育課程上に位置付け、継続的な指導が行われるようにしました。

(3) 「アグリ・スタディ・プログラム」実践の場が教育ファーム

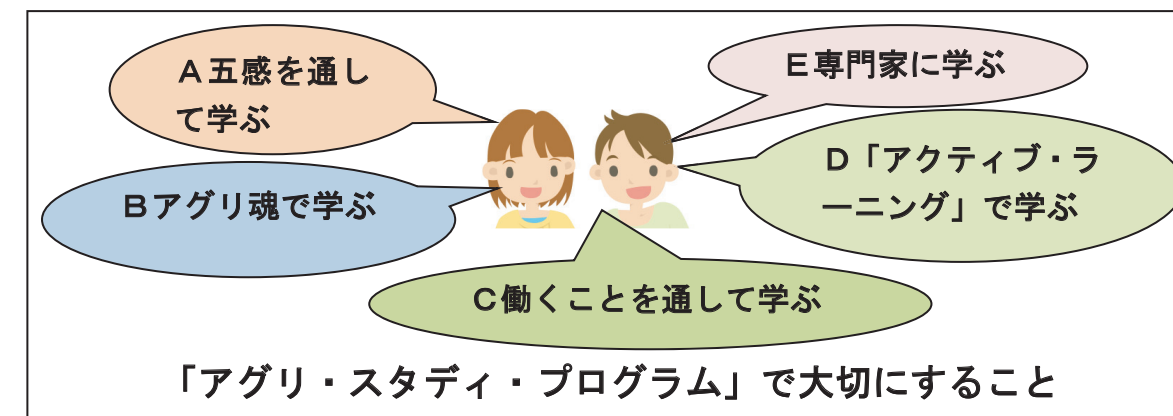


「アグリ・スタディ・プログラム」による農業体験学習を行うすべての場のことを新潟市では「教育ファーム」と定義しています。

それぞれ学校が無理のない範囲で地域や学校の実態に即して学習する教育ファームを選び、実践できるよう作られています。

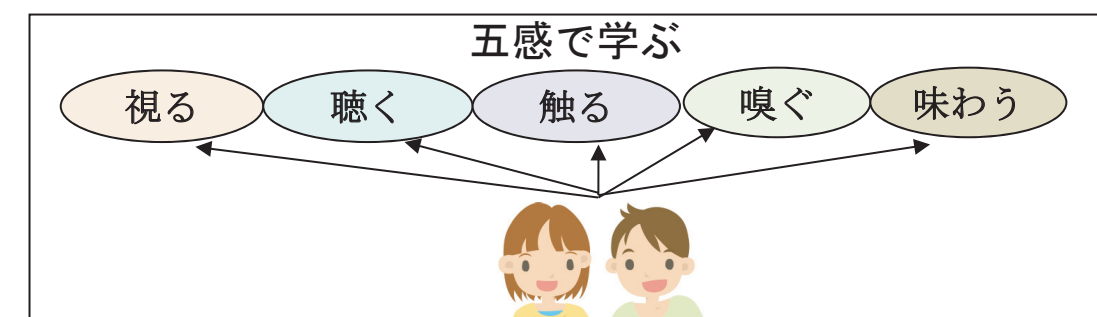
(4) 「アグリ・スタディ・プログラム」で大切にすること

「アグリ・スタディ・プログラム」は、次の五つを大切に編成されています。



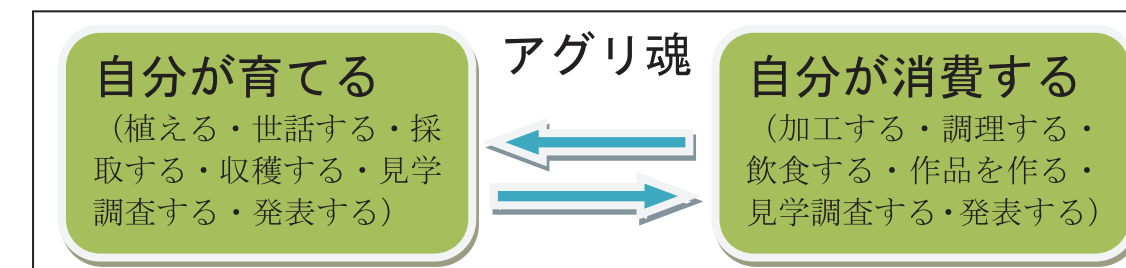
A 五感で学ぶ

五感により、人間は自分が「生きている」ことを明確に自覚することができます。そして、五感で学ぶことにより、子どもたちは自分の感覚と知識を結び付けた確実な学びを獲得することができるのです。



B アグリ魂で学ぶ

人間が生きていくためには、「育てる」と「消費する」ことの両方の調和が必要です。私たちはこれを「アグリ魂」と呼びます。子どもたちは食べ物がいかにどのように生産され、加工され、調理されるかを知り、その過程で生命の仕組み、生産の工夫等を学び、それを成果として作品化することで、働くこと、食べること、生きることを自分事として考えられるようになります。

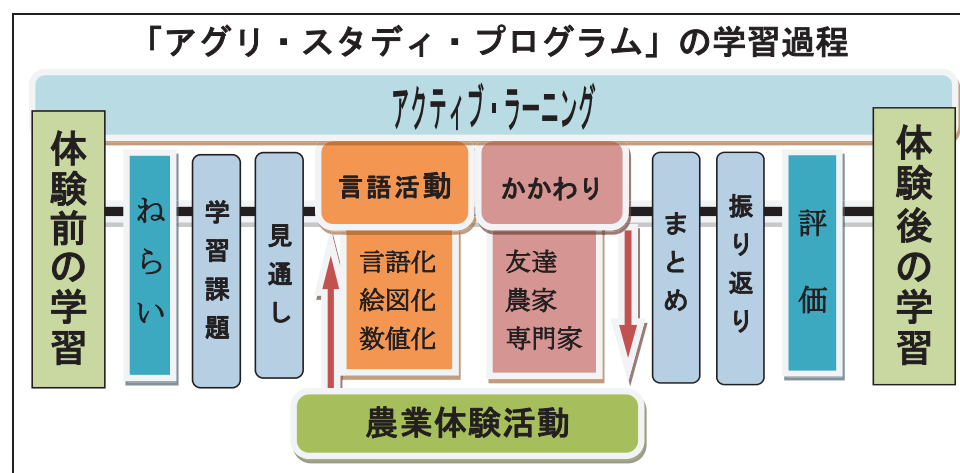


C 働くことで学ぶ

汗を流して働くことを大切に学習を行います。子どもが将来の自分の生き方や仕事を考えるうえで、働く体験は欠かすことができません。農業体験学習をすることで働く意味に気付き始めた子どもは、自分に適した仕事は何なのかを真剣に考えるようになり、キャリア意識を高め、自分の将来を展望するきっかけを得ることができます。

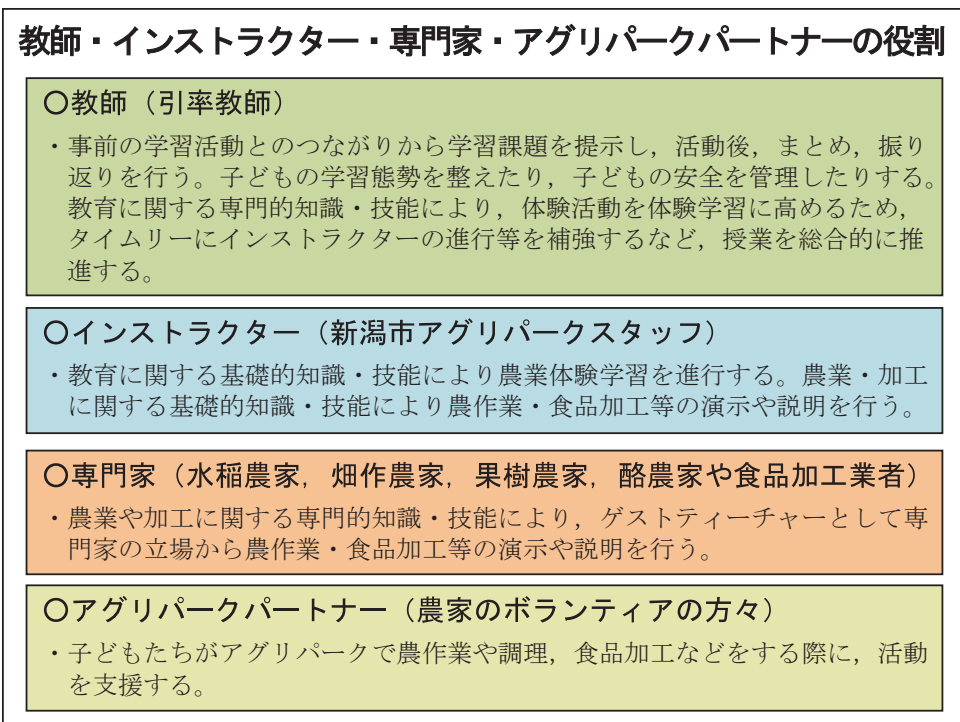
D 「アクティブ・ラーニング」で学ぶ

学習課題－見通し－かかわり－言語活動－まとめ－振り返り－の学習過程に農業体験活動を位置付けた学習を推進します。



E 専門家に学ぶ

新潟市アグリパークでは、子どもと専門家との出会いを効果的に行うことができるよう、専門家・インストラクター・教師等がそれぞれ役割を明確にして学習を進めます。



(5) 農業体験活動を農業体験学習に高めるために

農業体験活動を農業体験学習に高めることを目指して、次の2種類の学習を観点として「アグリ・スタディ・プログラム」を策定することにしました。



このような2種類の学びを必要十分条件とした学びを実現することが、農業体験活動を農業体験学習に高めることになるのです。

3 支援体制の整備

(1) 施設にかかわる支援

「新潟市アグリパーク」が、その役割と責務を時が経ってもぶれることなく全うしていくために、7つのコンセプトを定めました。

- 1 子どもたちが本格的な農業体験をすることができます
- 2 子どもたちが持続可能な循環型の農業を学ぶことができます
- 3 子どもたちが生きる力を培うため、体験と知識を結び付けた学習をすることができます
- 4 子どもたちが農業体験、加工体験、食体験を関連付けた学習をすることができます
- 5 子どもたちが郷土への誇りと愛情、命の大切さを学ぶことができます
- 6 子どもたちが農業体験をとおしてキャリア意識を高めることができます
- 7 子どもたちが農家のサポートを受けながら仲間と協力して絆を深めることができます

- (2) プログラムにかかわる支援
- ① 新潟市アグリパーク等の施設
 - a ていねいな打ち合わせの実施
 - b プログラムの実施
 - c 学校の要望を取り入れた修正プログラムの実施
 - d 学校と共同開発したプログラムの実施
 - ② 各学校・園
 - a 学校・園へ出向くプログラムの実施
 - b 学校と農業関係者をつなぐ支援
 - ③ 情報提供

「アグリ・スタディ・プログラム」実践の様子、成果や課題等の情報提供を行っていきます。

(3) 経費に対する支援

農林漁業の現場で体験学習

1	内容	市内での宿泊を伴う農林漁業体験
	対象	小学4年生～6年生
	支援内容	①体験受入農家の紹介，講師謝礼の負担，宿泊代の助成 ②バス代の助成

学校教育田で体験学習

2	内容	JAを窓口にした学校教育田での米づくり等体験
	対象	小学生・中学生
	支援内容	①学校教育田設置に係る費用を助成 ②学校教育田への移動に係るバス代の助成

いくとぴあ食花で体験学習

3	内容	いくとぴあ食花での，食育・花育，創作活動，動物とのふれあいなど
	対象	園児・小学生
	支援内容	①講師謝礼の助成 ②バス代の助成

新潟市アグリパークで体験学習

4	内容	宿泊を伴う農業体験学習
	対象	小学生・中学生
	支援内容	①体験プログラムの紹介（新潟市アグリパーク），宿泊代の助成 ②バス代の助成

5	内容	新潟市アグリパークを拠点とした日帰りの農業体験学習
	対象	園児・小学生・中学生
	支援内容	①体験プログラムの紹介（アグリパーク） ②バス代の助成

Ⅱ プログラム（抜粋）

プログラム一覧	10
プログラムの見方	26
1 小学校編	30
おやさいマジック（パーティー編）＜2年 生活＞	
2 中学校・中等教育学校編	34
中学校アグリパーク・ツアーズ ～宿泊編～	
＜全学年 特別活動〔学校行事〕＞	
3 特別支援学校編（省略）	
4 幼稚園・保育園編（省略）	
5 適応指導教室編（省略）	
付）PTA編（省略）	

アグリ・スタディ・プログラム一覧

1 小学校編プログラム	
(1)アグリパーク	学習指導要領上の位置付け
① そうだったの！土のひみつ	1・2年 生活 *生活の内容(7)「動植物の飼育・栽培」
② おいしい 楽しい おやさいマジック (命の源, 土作り編)	1・2年 生活 *生活の内容(7)「動植物の飼育・栽培」
③ おいしい 楽しい おやさいマジック (パーティー編)	1・2年 生活 *生活の内容(7)「動植物の飼育・栽培」, (9)「自分の成長」
④ まるごとかんじて ストロベリーデー!	1・2年 生活 *生活の内容(5)「季節の変化と生活」, (9)「自分の成長」
⑤ かしい消費者になろう ~畑から食卓へ, おいしい野菜をとどけたい~【見直そう わたしたちの買い物】	3年 社会 *社会の内容(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」ア
⑥ かしい消費者になろう ~畑から食卓へ, おいしい野菜をとどけたい~【調べよう ものを作る仕事】	
⑦ 新潟おいしい果物物語	3・4年 社会 *社会の内容(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」イ
⑧ 季節によって違うのですか?	4年 理科 *理科の内容B「生命・地球」(2)季節と生物
⑨ 昔の泥田に入ろう	3・4年 社会 *社会の内容(5)「地域の古い道具, 文化財や年中行事, 地域の発展に尽くした先人の具体的事例」
⑩ 果樹園はどんな場所?	3・4年 社会 *社会の内容(5)「地域の古い道具, 文化財や年中行事, 地域の発展に尽くした先人の具体的事例」
⑪ アグリ教育田:にいがたお米No.1! (田植え編)	
⑫ アグリ教育田:にいがたお米No.1! (草取り編)	5年 社会 *社会の内容(2)「我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連」ウ
⑬ アグリ教育田:にいがたお米No.1! (稲刈り編)	
⑭ おいしさの秘密を探せ ~野菜と家畜から学ぶ生命の循環~	5年 社会 *社会の内容(2)「我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連」ウ
⑮ 畜産農家の工夫をさがそう!	5年 社会 *社会の内容(2)「我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連」ウ
⑯ そうだったの! めしべの秘密!	5年 理科 *理科の内容B「生命・地球」(1)「実や種子のでき方」
⑰ ありがとう・いただきます ~家畜から学ぶ, いのちのあたたかさにつながり~	6年 理科 *理科の内容B「生命・地球」(1)「人の体のつくりと働き」
⑱ 見つめて 感じて ~動物となかよし~	全学年 図画工作 *図画工作の内容A表現(2)
⑲ まかせてね今日の食事 ~アグリ定食を作ろう~	6年 家庭 *家庭の内容B「日常の食事と調理の基礎」(3), D「身近な消費生活と環境」(2)
⑳ ありがとう・いただきます ~道徳編~	6年 道徳 *道徳の内容3-(2)(D-(20))
㉑ 稲も家畜も, 私たちのために	5年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
㉒ 大豆は, ホントに大事な豆	3~5年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
㉓ 考えてみよう! 米粉からお米のこと	5年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
㉔ そうだったの! 牛乳に秘められた命の恵み!	3~6年 特別活動[学級活動]共通事項 (2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」キ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」

* 野菜の生育状況, 動物の飼育状況により, 1人あたりの料金が変わったり, プログラムが実施できなくなったりする場合がありますのでご了承ください。

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
よい土調べ体験⇒よい土クイズ(まとめ)⇒堆肥場めぐり, 牛のえさやり体験⇒土作り体験	30円	13時間 (3時間)
よい土調べ体験(1)⇒よい土調べ(2)⇒堆肥場めぐり, 牛のえさやり体験⇒土作り体験	30円	18時間 (3時間)
野菜の観察(1)⇒野菜の観察(2)⇒野菜の収穫⇒ピザ作り⇒牛へお礼のえさやり	260円	16時間 (4時間)
イチゴつみ, 食味体験⇒(受粉体験)⇒いちご大福づくり体験	160円	17時間 (4時間)
【販売者の工夫や思いについて考える】直売所見学⇒野菜の収穫体験⇒調理・試食体験⇒野菜の下処理と販売準備体験	40円	14時間 (4時間)
【生産者の工夫や思いについて考える】直売所見学⇒野菜の収穫体験⇒調理・試食体験⇒野菜の下処理と販売準備体験	40円	13時間 (4時間)
梨園体験と聞き取り調査⇒食味, クイズ, 収穫体験⇒カード製作, ラッピング	370円	8時間 (3時間)
野菜探しくイズ体験⇒季節の野菜料理作り⇒お礼の活動(除草等)	80円	29時間 (4時間)
昔の農具調査⇒泥田体験	要相談	15時間 (4時間)
梨もぎ体験⇒梨畑の地形調べ	370円	16時間 (2時間)
手植えで田植え体験⇒機械植えの見学	10円	18時間 (3時間)
除草体験	10円	18時間 (2時間)
コンバインの稲刈り見学⇒手刈り, はざかけ体験⇒千歯こき体験	10円	18時間 (4時間)
農地の観察⇒野菜の食味体験⇒堆肥観察体験⇒堆肥探索体験	40円	17時間 (2時間)
ブラッシング体験⇒搾乳体験⇒聞き取り調査	70円	17時間 (2時間)
ルーペで実の観察, 収穫体験⇒スコープで実の観察, 切って観察⇒食味・果樹農家の話・種数え	440円	11時間 (2時間)
家畜の世話と観察⇒搾乳体験と試飲⇒清掃体験	70円	17時間 (3時間)
動物とのふれあい体験⇒動物の絵を描く	70円	9時間 (3時間)
旬の野菜の収穫体験⇒調理体験⇒土作り体験	440円	12時間 (5時間)
(家畜の世話と体験⇒搾乳体験と試飲⇒清掃体験)⇒自然愛, 動植物愛護の「道徳」の授業	無料	1時間
家畜の観察・世話体験⇒食肉加工体験⇒清掃体験	390円	56時間 (4時間)
土作り⇒大豆の種まき⇒大豆生産者にインタビュー⇒味噌作り 脱穀⇒大豆加工品作り⇒味噌おにぎり作り	140円/100g (大豆を持ち 込む場合115 円)	37時間 (4時間) (4時間)
米粉作り⇒米粉・小麦粉比べ(調理)⇒米粉・小麦粉比べ(食味)⇒米粉開発関係者の話	140円	16時間 (4時間)
牛乳クイズ, 畜産農家の話⇒搾乳体験(・子牛とのふれあい)⇒牛乳の試飲⇒クイズ・調べ学習・畜産農家の話	70円	5時間 (3時間)

1 小学校編プログラム	
(1) アグリパーク	学習指導要領上の位置付け
⑫ アグリパーク・ツアーズ ～日帰り編～	全学年 特別活動〔学校行事・遠足〕
⑬ アグリパーク・ツアーズ ～宿泊編～	4～6年 特別活動〔学校行事・遠足〕
【アグリパークツアーズプログラム】	
入村式・退村式(日帰り)	全学年 特別活動〔学校行事〕 *特別活動〔学校行事〕の内容(4)遠足・集団宿泊的行事、 (5)勤労・奉仕的行事
入村式・退村式(宿泊)	
①アグリ探検隊	
②アグリオリエンテーリング	
③循環型農業探検隊	
④循環型農業オリエンテーリング	
⑤農業道場	
⑥農業活性化研究センター見学(限定プログラム)	
⑦搾乳と試飲・世話	
⑧牛の世話と牛乳の試飲	
⑨トウモロコシの試食と堆肥ウォッチング・家畜のエサやり	
⑩羊や牛の見学とウイナーソーセージ作り・試食	
⑪搾乳とアイスクリーム作り・試食	
⑫搾乳とバター作り・試食	
⑬昔の農家の子どもになろう(野菜の収穫と試食)	
⑭畑の耕起と収穫・簡単調理・試食(アグリ・リレー・プロジェクト)	
⑮畑の種まきと収穫・簡単調理・試食(アグリ・リレー・プロジェクト)	
⑯野菜の世話と収穫・簡単調理・試食(アグリ・リレー・プロジェクト)	
⑰野菜の収穫と調理・試食	
⑱家畜の世話とスケッチ	
⑲野菜の収穫とアグリ石窯ピザ作り・試食(初級編)	
⑳野菜の収穫とアグリ石窯ピザ作り・試食(上級編)	
㉑野菜の収穫とあいもん団子作り・試食	
㉒枝豆収穫と試食	
㉓雪下野菜収穫と調理・試食	
㉔トウモロコシ収穫と焼きトウモロコシ作り	
㉕野菜の収穫と生ジュース作り・試飲	
㉖芋の収穫と焼きも・試食	
㉗野菜の収穫と鍋料理体験・試食(冬メニュー)	

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
学校集合 ⇒ バスで学校出発 ⇒ 入村式 ⇒ 午前の活動 ⇒ 午後の活動 ⇒ 退村式 ⇒ バスでアグリパーク出発 ⇒ 学校着	選択した 体験活動に 応じて	7時間 (5時間)
■1日目 学校集合 ⇒ バスで学校出発 ⇒ 入村式 ⇒ 午前の活動 ⇒ 昼食 ⇒ 午後の活動 ⇒ 入浴 ⇒ 夕食 ⇒ 夜の活動 ⇒ 就寝 ■2日目 起床 ⇒ 朝飯前の活動 ⇒ 朝食 ⇒ 午前の活動 ⇒ 昼食 ⇒ 午後の活動 ⇒ 退村式 ⇒ バスでアグリパーク出発 ⇒ 学校着	選択した 体験活動に 応じて	1泊2日
①～④の料金は学校で資料を印刷する場合は無料です。		
入村式:めあてを確認し、思い出に残る行事にするため準備を整える。 退村式:アグリパークでの生活をふり振り返り、集団生活で大切にすべきことを再確認する。	無料	(10分+15分) (35分+15分)
全員でまとまってパークを回り、「育てるー消費する」に関するクイズに答えながら農業と人間の関係について見聞を広げる。	10円	(45分)
グループで協力してパーク内を回り、「育てるー消費する」に関するクイズで点数を競いながら農業と人間の関係について見聞を広げる。	1グループ 10円	(90分)
全員でまとまってパークを回り、「育てる⇒消費する⇒育てる」に関するクイズに答えながら農業と人間の関係について見聞を広げる。	10円	(45分)
グループでパーク内を回り、「育てる⇒消費する⇒育てる」に関するクイズで点数を競い、農業と人間の関係について見聞を広げる。	1グループ 10円	(90分)
自分が食べているものが、耕すー畝を作るー植えるー世話するなど、どのような農業技術により作られたかを体験し、見聞を広げる。	無料	(45～90分)
農業活性化研究センターを見学し、農業研究について見聞を広める。※計画段階でアグリパークに要相談	無料	(45分)
搾乳して試飲した後、牛のブラッシング、餌やり、畜舎清掃等を行うことにより、家畜が人間の生活に大切な役割を果たしていることに気付く。	80円	(90分)
牛等のブラッシング、餌やり、畜舎清掃等を行った後、牛乳を試飲することにより、家畜が人間の生活に大切な役割を果たしていることに気付く。	80円	(45分)
堆肥ができるまでを観察し、その原料を生産してくれる家畜にお礼のエサやりを行うことにより、持続可能な循環型農業を理解する(堆肥のお土産付き)。	30円	(90分)
ケーシングの材料になる腸を持つ羊や牛を見学した後、ウイナーソーセージ作りを行うことにより、家畜が人間の生活に大切な役割を果たしていることに気付く。	390円	(200分)
牛や山羊の搾乳を行った後、アイスクリームを作り、試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に作った物を食べる楽しさを感じる。	210円	(145分)
牛や山羊を搾乳した後、バターを作りを行うことにより、家畜が人間の生活に大切な役割を果たしていることに気付く。	130円	(135分)
昔の農家の子どももたしたように、畑でキュウリ、トマト等すぐにかぶりつける野菜を収穫し、豪快に試食する。	10円	(45分)
土起こし・畝作りなどを行った後、別の畑で収穫し、簡単な調理をして試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。	90円	(145分)
種まきなどを行った後、別の畑で収穫し、簡単な調理をして試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。	90円	(145分)
水やりや草取り等の農作業を行った後、別の畑で収穫し、試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。	90円	(145分)
野菜の収穫を行った後、調理を行い、試食することにより、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさに気付く。	90円	(100分)
家畜の世話や見学してからスケッチをすることにより、家畜に愛着を覚え、質感豊かな絵を描く。	30円	(90分)
収穫した野菜などを材料に石窯ピザを作り、試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。	250円	(90分)
薪割り⇒火入れ⇒野菜収穫⇒石窯ピザ作り⇒試食により、どのようにして農産物からおいしい食べ物に変えてきたかに気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。※中学以上	250円	(135分)
アグリリレープロジェクト等での野菜を使って、あいもん団子を作り試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫した物を食べる楽しさを感じる。	290円	(180分)
枝豆を収穫し、茹でて試食することにより、農業の果たす役割に気付くとともに、友達と一緒に収穫したものを食べる楽しさを感じる。	30円	(90分)
雪の中から野菜を掘り出し、調理して試食することにより、自然の力に気付くとともに、友達と一緒に収穫した野菜を飲食する楽しさを感じる。	40円	(90分)
トウモロコシを収穫し、焼いて試食することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に収穫した物を食べる楽しさを感じる。	40円	(100分)
野菜の収穫を行い、それを使ってジュースを作り、試飲することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に収穫した野菜のジュースを飲む楽しさを感じる。	90円	(90分)
芋を収穫したり、アグリリレープロジェクトの芋を使ったりして、焼きいもを作り、試食することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に収穫した物を食べる楽しさを感じる。	40円	(90分)
収穫した野菜やアグリリレーの野菜などを使って鍋料理を作り、みんなで鍋をつついて試食することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に収穫した物を食べる楽しさを感じる。	250円	(90分)

⑳野菜の収穫とカレー作り・試食	
㉑豆の見学と豆腐作り・試食	
㉒麦の見学とパン作り・試食	
㉓イチゴ摘みとイチゴ大福作り・試食	
㉔かまどの話とかまど米炊き・おむすびの試食	
㉕お餅の話と餅つき・試食<宿泊メニュー>	
㉖笹団子の話と笹団子作り・試食	
㉗生ごみが奇跡を起こす！	
㉘わら細工に挑戦しよう！	
①+αプログラム・野菜を調べて新潟の農業について知ろう！（①の+αメニュー）	
②+αプログラム・ミニトマトの食べ比べ（⑬～⑰の+αメニュー）	
③+αプログラム・アグリフォイル焼き（⑱、⑳の+αメニュー）	
④+αプログラム・専門家のお話（全プログラムの+αメニュー）	
⑤+αプログラム・読み聞かせ（全プログラムの+αメニュー）	
夜の活動①農家の夜語り	
夜の活動②農業夜話	
夜の活動③星空観察と農業話	
夜の活動④アグリで肝試し	
朝飯前の活動①家畜ブラッシング	
朝飯前の活動②家畜のエサやり・畜舎清掃	
朝飯前の活動③畑作物の水やり・草取り	
朝飯前の活動④野菜の芽かき・葉かき	

全学年 特別活動[学校行事]
*特別活動[学校行事]の内容(4)遠足・集団宿泊的行事、
(5)勤労・奉仕的行事

収穫した野菜を使って、カレーライスを作り、試食することにより、友達と一緒に調理したものを食べる楽しさに気づく。	440円	(135分)
アグリレープロジェクトの豆を使って、豆から豆腐を作り、試食することにより、友達と一緒に食品加工した物を食べる楽しさに気づく。	120円	(135分)
麦の様子を見学した後、パン作りを行い、試食することにより、友達と一緒に食品加工したものを食べる楽しさに気づく。	120円	(135分)
収穫したイチゴを使ってイチゴ大福を作り、試食することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に加工したイチゴ大福を食べる楽しさを感じる。	160円	(105分)
かまどをつかってご飯をたき、おにぎりを作って、試食することにより、昔の農家の生活を知るとともに、「同じ釜の飯」を食べる連帯感を感じる。	130円	(135分)
アグリパーク周辺の水田のもち米で兎杵と臼を使って餅をつき試食することにより、農業の果たす役割に気づくとともに、友達と一緒に搗いた餅を食べる楽しさを感じる。	150円	(180分)
収穫したりアグリレープロジェクトの等を使ったりして笹団子を作り、試食することにより、友達と一緒に食品加工した物を食べる楽しさを感じる。	350円	(180分)
自分たちが調理で出した生ごみを、微生物の働きですばらしいものに変化させる経験を通して、循環型農業に関心をもつとともに、持続可能な社会を作る重要性に気づく。	40円	(45分)
昔の農民が夜仕事に行ったわら細工に挑戦し、昔の農業が、稲⇒わら⇒わら細工製品⇒<使用>⇒堆肥⇒水田⇒稲の循環により成り立っていたことに気付く。※中学以上	わら代など	(180分)
「①アグリ探検隊」のプラスαプログラム	無料	(90分)
「⑩畑の耕起と収穫・試食」のプラスαプログラム	20円	(30分)
「⑮野菜の収穫とアグリ石窯ピザ作り・試食(初級編)」及び「⑯野菜の収穫とアグリ石窯ピザ作り・試食(上級編)」のプラスαプログラム	20円	(80分)
すべてのプログラムについて、専門家から話をしていただき、農業や加工の意味づけを行うことができる。30分～100分	無料	(30～100分)
読み聞かせの専門家から活動に関係のある本を読んでもらう。	無料	(25～75分)
農家の方から農作業に関するお話や伝説を聞く。	無料	(45分)
新潟の農業や農業の歴史について専門家の方から話を聞く。	無料	(50分)
星の運行と農作業についての話を聞き、星空観察をする。	無料	(70分)
通過儀礼として農村に伝わる肝試しを体験する	無料	(70分)
家畜のブラッシング体験をする	20円	(30分)
家畜のエサやりと、畜舎の清掃を体験する	40円	(30分)
畑作物の水やり・草取り体験を行う	10円	(30分)
野菜の手入れを体験する	10円	(30分)

1 小学校編プログラム	
(2)いくとびあ食花	学習指導要領上の位置付け
①めざせ！花いくミニマスター！【食育・花育センター】	1・2年 生活 *生活の内容(5)季節の変化と生活, (6)自然や物を使った遊び
②動物さんたち何をしているの？【動物ふれあいセンター, こども創造センター】	1・2年 図画工作 *図画工作の内容A表現(2)
③食育・花育センターの秘密【食育・花育センター】	3～6年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
④つくって学ぶ命【動物ふれあいセンター, 食育・花育センター, こども創造センター】	5年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
⑤めざせ！和食で“家庭遺産”@いくとびあ【食育・花育センター】	5・6年 家庭 *家庭の内容B(2)「栄養を考えた食事」, 家庭の内容B(3)「調理の基礎」
⑥ペットの幸せ～動物愛護・ふれあいセンターの取組～【動物愛護センター, 動物ふれあいセンター】	6年 特別活動・道徳 *特別活動[学校行事]共通事項(4)遠足・集団宿泊的行事 *道徳の内容3-(1), 3-(2)(D-(19), (20))
⑦卒業に向けて～台所でひとり立ち～【食育・花育センター】	6年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
(3)農家	学習指導要領上の位置付け
①そうだったの！冬咲きチューリップの秘密	3年 社会 *社会の内容(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」イ
②おいしい柿づくりのひみつ	3年 社会 *社会の内容(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」イ
(4)学級教材園	学習指導要領上の位置付け
①教材園に今日行く, 明日行く, 共に育(ヘチマ栽培)	4年 理科 *理科の内容B「生命・地球」(2)イ「植物の成長」
②SVカレー de おもてなし in 学級菜園	6年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
③伝統野菜を, 育てて・食べちゃおう!	6年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
④生ごみが奇跡を起こす! ごみは, ごみじゃない!	6年 理科 *理科の内容B「生命・地球」(2)「生物と環境」

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
旬の草花クイズ⇒草花あそび⇒まとめ&草花専門家の話	無料	8時間 (2時間)
動物とのふれあい体験⇒動物の絵を描く	200円	4時間 (2時間)
花栽培体験・聞き取り調査⇒振り返りの活動⇒花展示・聞き取り調査	無料	10時間 (3時間)
羊の世話体験⇒食肉加工体験⇒土偶づくり体験	800円	19時間 (5時間)
おだしをとってみそ汁をつくろう⇒(食育ビンゴゲーム⇒目指せ! 栄養食事バランス)	約100円	13時間 (2+3時間)
新潟市動物愛護センターの見学⇒動物ふれあいセンターの見学⇒道徳の時間で, これからの自分の生き方を考える	無料	4時間 (2+1時間)
直売所で食材を買う⇒おかずを作る(⇒家庭との連携学習で弁当作り⇒卒業式で保護者に弁当でおもてなし)	約400円	23時間 (6時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
ビニルハウス調べ⇒農家の人へ質問⇒農家の人からのお話(⇒栽培活動⇒PR活動)	要相談	18時間 (2時間)
柿仕分け作業の見学⇒柿の収穫体験⇒農家の人からの聞き取り調査(⇒選果場の見学⇒発表会)	要相談	14時間 (3時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
種まき・植えかえ⇒芽・茎・葉・つるの観察⇒花の観察⇒実・種子の観察・たわし作り	種代	19時間 (5時間)
畝作り・苗植え⇒野菜の世話⇒調理と会食(卒業謝恩会)	苗代	34時間 (2時間)
土作り⇒伝統野菜の種まき(⇒伝統野菜の食料事情を調べる⇒伝統野菜を使った郷土料理作りまたは新しい料理作り)	約500円 (種・肥料など)	40時間 (3時間)
野菜くずの観察⇒土作り⇒植え付け(⇒野菜栽培)	約100円	6時間 (2時間)

2 中学校編プログラム	
(1)アグリパーク	学習指導要領上の位置付け
①食素材の力をいかし、付加価値を高める ～新潟食農ブランドづくり～	1年 技術・家庭〔家庭分野〕 *家庭分野の内容B「食生活と自立」(3)イ、D「身近な消費生活」(1)イ
②協力し合い 苦手な野菜を克服しよう！	全学年 特別活動〔学級活動〕 *特別活動〔学級活動〕の内容(2)「適応と成長及び健康安全」、オ「望ましい人間関係の確立」、キ「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」
③Agrish Cooking! ～英語で郷土料理 in Agri～	2年 外国語〔英語〕 *外国語の内容(1)言語活動ア「聞くこと」(エ)(オ)、イ「話すこと」(イ)、エ「書くこと」(エ)
④ザ・野菜づくり ～アグリで体験生物育成と季節の食材の調理～	全学年 技術・家庭 *技術・家庭〔技術分野〕の内容C「生物育成に関する技術」(1)ア「生物育成の条件と育成環境の管理方法」 *技術・家庭〔家庭分野〕の内容B「食生活と自立」(3)イ「地域の食文化についての理解」
⑤農業が感動に変わる職場体験学習！	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
⑥新潟農業ヒストリー ～乾田化で都市化～	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
⑦アグリビジネスを体験しよう！ ～仮想株式会社で起業体験学習～	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「横断的・総合的な課題」
⑧新潟はスイーツ王国だ！ ～地場産野菜の魅力を生かして～	全学年 特別活動〔生徒会活動〕
⑨アグリパーク・ツアーズ ～日帰り編～(選択プログラム45) ※プログラムは、30ページを参照	
⑩アグリパーク・ツアーズ ～宿泊編～(選択プログラム53) ※プログラムは、30ページを参照	全学年 特別活動〔学校行事〕 *特別活動〔学校行事〕の内容(4)旅行・集団宿泊的行事、(5)勤労・奉仕的行事
(2)いくとびあ食花	学習指導要領上の位置付け
①食花ハローワーク【いくとびあ各施設】	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「職業や自己の将来にかかわる課題」
(3)近隣農家	学習指導要領上の位置付け
①日本で一番！アート新潟園芸	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「職業や自己の将来にかかわる課題」
②世界にプレゼン！ブランド新潟米	全学年 総合的な学習の時間 *学習課題:「職業や自己の将来にかかわる課題」

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
産地見学ツアーと生産者の方々へのインタビュー⇒収穫した生鮮野菜・果物とと加工食品の食べ比べ⇒仮想店舗「中学生青空アグリCafé」による6次産業化模擬体験⇒レシピコンペ体験	110円 ～ 210円	10時間 (5時間)
苦手な野菜の収穫体験⇒調理体験⇒食味体験	440円	7時間 (3時間)
新潟の郷土料理に関する英語のパンフレット作り⇒新潟の郷土料理体験⇒外国の方向けパンフレット作り	230円	13時間 (4時間)
野菜の管理技術体験⇒野菜の収穫体験⇒加工・調理体験	440円	10時間 (4時間)
■圃場管理 施設を見学する⇒農作物の話聞く⇒農作業をする⇒昼食をとりながら、指導員へインタビュー⇒農作業をする⇒振り返り、まとめを記録 ■畜舎管理 施設を見学する⇒畜産動物の話聞く⇒畜舎作業をする⇒昼食をとりながら、指導員へインタビュー⇒畜舎作業をする⇒振り返り、まとめを記録 ■インストラクター業務 施設を見学する⇒業務の話聞く⇒業務を行う⇒昼食をとりながら、指導員へインタビュー⇒業務を行う⇒振り返り、まとめを記録	無料	5日の場合 37時間 (6時間×5日) 休憩除く
亀田郷の歴史の講義⇒芦沼体験⇒米とぎ・炊飯・おにぎり作り・食事⇒(排水機場の見学) ※芦沼体験は準備中	130円	10時間 (6時間)
【仮想株式会社を起業】営業宣伝課:チラシ制作, 栽培課:野菜栽培・収穫, 商品開発1課:食品加工, 商品開発2課:グッズ製作 ⇒ 商品の販売	120円 (その他別途)	20時間 (5時間)
圃場探検と聞き取り調査⇒野菜の収穫と食体験⇒体験の共有(ファシリテーション活動)⇒スイーツ作り	50円	6時間 (4時間)
学校集合 ⇒ バスで学校出発 ⇒ 入村式 ⇒ 午前の活動 ⇒ 午後の活動 ⇒ 退村式 ⇒ バスでアグリパーク出発 ⇒ 学校着	選択した 体験活動に 応じて	7時間 (5時間)
■1日目 学校集合 ⇒ バスで学校出発 ⇒ 入村式 ⇒ 午前の活動 ⇒ 昼食 ⇒ 午後の活動 ⇒ 入浴 ⇒ 夕食 ⇒ 夜の活動 ⇒ 就寝 ■2日目 起床 ⇒ 朝飯前の活動 ⇒ 朝食 ⇒ 午前の活動 ⇒ 昼食 ⇒ 午後の活動 ⇒ 退村式 ⇒ バスでアグリパーク出発 ⇒ 学校着	選択した 体験活動に 応じて	1泊2日
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
自己紹介, あいさつ⇒注意事項の確認⇒職場実習⇒1日の振り返り	無料	1～5日
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
植物園見学⇒園芸農家でのインタビュー, 鉢植え体験	500円以内	8時間 (3時間+昼食)
農家へのインタビュー⇒田植え体験⇒稲刈り体験⇒コンバインによる稲刈りの見学(⇒海外向けのパンフレット作成)	無料	11時間 (4時間)

3 特別支援学校編プログラム	
(1)アグリパーク	学習指導要領上の位置付け
①あいにいこう！「HOTほっと」あにまるZOO！！	小学部全学年 生活 *生活の内容1段階(10)身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもったりする。
②うれしいな！みんなと一緒に野菜作り！	中学部全学年 特別活動〔学校行事〕 *特別活動〔学校行事〕の内容(4)旅行・集団宿泊的行事、(5)勤労生産・奉仕的行事
③アグリツアーを成功させよう！（日帰り編）	中学部全学年 特別活動〔学校行事〕 *特別活動〔学校行事〕の内容(4)旅行・集団宿泊的行事
④アグリツアーを成功させよう！（宿泊編）	中学部全学年 特別活動〔学校行事〕 *特別活動〔学校行事〕の内容(4)旅行・集団宿泊的行事
(2)いくとぴあ食花	学習指導要領上の位置付け
①植物にふれよう・つくろう ～花びらが大変身！～(春編)【食育・花育センター】	中学部全学年 生活単元学習 *生活単元学習の内容「栽培を中心とした単元」
②植物にふれよう・つくろう ～花びらが大変身！～(秋編)【食育・花育センター】	中学部全学年 生活単元学習 *生活単元学習の内容「栽培を中心とした単元」
(3)教材園	学習指導要領上の位置付け
①さつまいもを育てよう・おいしく食べよう	中学部全学年 生活単元学習 *生活単元学習の内容「栽培を中心とした単元」

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
コースを選んだり組み合わせたりする活動(・わくわくコース〈見る〉・どきどきコース〈ふれる〉・てくてくコース〈散歩する〉・もぐもぐコース〈えさをやる〉・ぬりぬりコース〈絵を描く〉)⇒アイスクリームの試食・振り返り	160円	3時間 (約1時間)
■第1次 苗植え・水やり ■第2次 収穫⇒調理体験または販売体験	80円	7時間 (1+2時間)
アグリ探検⇒体験学習(搾乳・バター加工・笹団子加工・わら細工)⇒昼食⇒買い物	選択した 体験活動に 応じて	6時間 (6時間)
■1日目 入村式:アグリパークにおける目当てを確認⇒ルール、生活の仕方、活動の仕方等の確認⇒荷物整理、役割分担⇒昼食⇒休憩、午後の準備⇒『収穫体験』もしくは『買い物学習』⇒コテージに移動⇒調理室に移動⇒昼食作り⇒夕食⇒後片付け⇒入浴⇒レクリエーション(肝試し・星空観察)⇒身支度、就寝 ■2日目 起床、身支度⇒朝食前の活動(牛の世話体験、果物収穫)⇒朝食⇒コテージで荷物整理、掃除⇒昼食(野菜ピザ)作り⇒昼食⇒退村式、感想発表	選択した 体験活動に 応じて	1泊2日
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
花の観賞⇒花びらの収穫⇒染物作り	約300円	5時間 (3時間)
花の観賞⇒花びらの収穫⇒花びら染めのコースター作り	約300円	5時間 (3時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題、学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	料金 (1人あたり)	総時間 (うち体験学習 時間)
畑作り⇒苗植え体験⇒収穫体験⇒調理体験	約300円	15時間 (1+1+1+2時間)

4 幼稚園・保育園編プログラム	
(1)アグリパーク	幼稚園教育要領, 保育所保育指針上の位置付け
①菌ちゃんはお友達～野菜くずでリサイクル元気野菜づくり～	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る
②大豆の変身～味噌の不思議～	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る
③牛さん ありがとう	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る
(2)いくとぴあ食花	幼稚園教育要領, 保育所保育指針上の位置付け
①朝ごはんで元気いっぱい【食育・花育センター】	健康 (5)先生や友達と食べることを楽しむ (6)健康な生活のリズムを身につける (9)自分の健康に関心を持ち, 病気の予防などに必要な活動を進んで行う
②植物の不思議～いろいろなものに変身～【こども創造センター, 動物ふれあいセンター】	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気づく (2)生活の中で様々なものに触れ, その性質や仕組みに興味や関心を持つ (4)自然などの身近な事象に関心を持ち, 遊びや生活に取り入れようとする (5)身近な動植物に親しみを持ち, いたわったり, 大切にしたり, 作物を育てたり, 味わうなどして, 生命の尊さに気づく。
③楽しく食べよう!～おいしく食べよう 朝ご飯～【こども創造センター, 食育・花育センター】	健康 (4)様々な活動に親しみ, 楽しんで取り組む (6)健康な生活のリズムを身に付け, 楽しんで食事する (7)身の回りを清潔にし, 衣類の着脱, 食事, 排せつなど生活に必要な活動を自分でする
(3)幼稚園・保育園教材園	幼稚園教育要領, 保育所保育指針上の位置付け
①サツマイモ大好き	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る
②おいしい野菜を育てよう～菌ちゃん元気野菜づくり～	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る
③なにができるのだろう? みんなで野菜作り!～野菜で漬物づくり～	環境 (1)自然に触れて生活し, その大きさ, 美しさ, 不思議さに気付く (3)季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く (5)身近な動植物に親しみをもって接し, 生命の尊さに気付き, いたわったりかわいがったりする (6)身近なものを大切に作る

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	料金 (1人あたり)	総時間 (うち体験学習時間)
持参した野菜くずの観察⇒プランターによる土づくり⇒慣行栽培との比較	40円	(2時間)
大豆の観察⇒味噌作り⇒完成品の味噌と比べる(⇒園で熟成⇒味噌を使った調理)	140円/100g (大豆を持ち込む場合115円)	(2時間)
牛と牛乳のクイズ⇒搾乳(牛乳の試飲)⇒餌やり⇒アイスクリーム作り	210円	7時間 (4時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	料金 (1人あたり)	総時間 (うち体験学習時間)
朝ごはんの大切さを知るエプロンシアター⇒朝ごはんもりもり度チェック⇒親子で朝ごはん作り・試食(⇒家庭で実践)	約200円	6時間 (4時間)
稲の穂を使って筆を作る⇒作った筆で絵を描く⇒動物と触れ合う	100円	5時間 (3時間)
朝ごはんの大切さを知るエプロンシアター⇒箸の使い方や食事のマナーを知る⇒オープン粘土で箸置き作り	200円	4～5時間 (2時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習時間)
畑で苗植え⇒世話と観察⇒収穫⇒調理⇒試食	約300円	(2+2時間)
野菜くずの観察⇒土作り⇒野菜作り⇒収穫・食味	2,700円 (1クラス)	(5+1+1+2時間)
農家からもらった種を育てる⇒間引きしてみそ汁にする⇒収穫⇒漬物作り	2,000円 (1クラス)	(4+3時間)

5 適応指導教室編プログラム	
(1)アグリパーク	幼稚園教育要領, 保育所保育指針上の位置付け
①ふれあい交流会	小学校5・6年特別活動[学校行事] 中学校1～3年特別活動[学校行事] *小学校 特別活動[学校行事](4)遠足・集団宿泊的行事 *中学校 特別活動[学校行事](4)旅行・集団宿泊的行事
付録)PTA編プログラム	
アグリパーク・教材園	
①親子で菌ちゃんとお友達！～野菜くずでリサイクル元気野菜づくり～	小学校PTA行事

幼稚園や保育園が、小・中学校のアグリパークツアーズの中の体験を希望する場合は、幼稚園・保育園プログラムを実施した上でアグリパークツアーズのプログラムをオプションとして活用願います。

主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。		
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
出会いの集い(レクリエーションなど)⇒野菜の収穫⇒収穫した野菜でピザ作り・ピザミニパーティー⇒搾乳体験 &えさやり体験⇒終わりの集い	320円	7時間 (5時間)
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。		
主な体験活動 ※このような体験活動と適切な学習課題, 学習のまとめ等を構成してプログラム化しています。	1人あたり 料金 (税込)	総時間 (うち体験学習 時間)
持参した野菜くずの観察⇒プランターによる土づくり⇒慣行栽培との比較	100円	2時間 (2時間)

プログラムの見方①〈見開き, 1, 2ページ目について〉

プログラム名と各種ストーリー性の程度について、★数で記しています。

子どもの問題意識を大切にするため、学習課題の例を記しています。

子どもたちの生きる力を伸ばすため、様々な体験活動を効果的に組み合わせた農業体験学習の流れについて、順を追って記しています。

取り上げた農業体験学習によって、子どもがどのように学んでいくのかを、子どもの具体的な姿で示し、その学びが学習指導要領のどこに位置付くのかを記しています。

体験学習 小学校全学年 特別活動

⑳ そうだったの! 牛乳に秘められた命の恵み!

- ・未来へのストーリー ★★★★★
- ・命のストーリー ★★★★★
- ・郷土愛のストーリー ★★★

自分が育てる(調査・観察・採取する)

牛乳には、どんな秘密があるのだろうか。

①牛乳クイズ, 畜産農家の話

乳牛ならオスもメスもお乳を出すんじゃないのかな?

みなさんは、子牛が飲むお乳を分けてもらっているんですよ。そのために、乳牛は…。

子牛さんから分けてもらっていたなんて…。
※お乳が出なくなると…。

② 搾乳体験・子牛とのふれあい

・搾ってみると、あたたかいし、やわらかいな。
・やさしく搾るね。みんなでしぼって、どれくらいの量になるかな。

確かな学び
プログラムを考えた専門家の人たちと学校の先生たちから

○小学校全学年:特別活動[学級活動]

・子牛が飲む乳を人間が分けてもらっていること、1年中、牛乳を得るために乳牛は、子牛を産むように人間によって管理されていること等から、牛の生命の営み(自然)の中から、牛乳という恩恵を得ていることを実感を持って知り、感謝の気持ちをもつことに結び付けていきます。

また、製品になるまでの過程、牛乳の栄養等を知ること、給食に携わる人への感謝や自分の食習慣への関心を高めていくことにも結び付けていきます。

※特別活動[学級活動]共通事項(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」キ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」

- ・実施期間 通年
- ・1班最大人数 30人
- ・費用 70円/人

この体験学習の実施時期や活動の人数、費用等について記しています。

自分が消費する(飲食する)

ふれあい

③牛乳の試飲, 酪農家の話

私は、牛乳クイズ上級編に挑戦しよう!

骨を作るのに確か…?

いつもより、おいしく感じるな。しぼった後、どうなるかを調べるんだ。

しぼった乳は、冷却保管して、あとからローリー車が集めに来て…。

・子牛のギュウちゃん、お乳を分けてくれてありがとう。
・バイバイ。たくさん飲んで大きくなってね。
・私もしっかり飲んで大きくなるね。

みんなが搾ってくれたお乳だよ。

農業体験学習について、想定される農家の人や子どもの様子をイラストや言葉で活動の順を追って記しています。

搾乳体験, 子牛とのふれあい体験の学びの可能性

○地形や気候などの自然条件とのかかわり、働く人の仕事の進め方、生産物の販売などの工夫を中心に学習を構成していくならば…

※小学校3・4年社会の内容(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」

○消費者の需要にこたえ、新鮮で良質な物を生産し出荷するための様々な努力や工夫、自然環境や社会的条件を生かした生産を高める工夫を中心に学習活動を構成していくならば…

※小学校5年社会の内容(2)「わが国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連」

○また、搾乳や子牛との触れ合いで感じた気持ちを、表現する活動として、国語や図画工作の時間につなげていくこともできます。

この学習で取り上げた体験活動を、どうすれば他の教科・領域に取り入れることができるのか、その可能性について条件や組み合わせ方を示しながら記しています。

一つのプログラムについて、4ページにわたって説明してあります。
・最初の1,2ページ見開きで、体験学習の大まかな流れと学びの内容が示されています。

・3ページ目には、単元の流れと単元における体験学習の位置付けが示されています。
・4ページ目には、体験学習時の指導略案が示されています。

プログラムの見方②〈3ページ目について〉

○プログラムに
関係する单元名
○プログラムに
関係する单元の
目標

実践例 「そうだったの! 牛乳に秘められた命の恵み!」
1 関連する单元名 小学校全学年 特別活動〔学級活動〕
「そうだったの! 牛乳に秘められた命の恵み!」(4時間)

2 関連する单元の目標
・アグリパークで、牛乳の生産にかかわる農家の人の話を聞いたり、搾乳や子牛とふれあったりする活動を通して、自然への恩恵、生産にかかわる人たちへの感謝の気持ちをもつとともに、給食などの自分の食習慣をよりよくしていくことができるようにする。

3 関連する单元の流れと体験学習の位置付け

(1) 牛乳についての調べ学習(4時間)

- ・毎日食べている給食について、発達段階に応じて食育の観点から考えさせる。
- ・牛乳については、共通の課題として位置付け、知りたいこと調べたいことを明確にして、アグリパークでの調べ学習、体験学習に臨めるようにする。
- ※遠足として位置付けて行う場合には、活動グループを決めたり、安全面の確認をしたりする。

体験の前

学習課題例

牛乳には、どんな秘密があるのだろうか。

アグリパークでの体験学習(3時間)

- ①牛乳に関する4拓クイズ → ②搾乳体験 → ③牛乳をいただく → ④子どもたちが搾乳した牛乳に関する自然の恩恵
牛乳の栄養、製造過程のクイズ 牛乳を飲む子牛の様子をみる
にする農家の人の話

まとめのメモ例

「牛乳は、母牛が子牛にあげるべき大切なお乳」
「乳牛や牛乳に関する仕事をする人は、いろいろな工夫をして牛乳を作っている。」
「子牛を育てる牛乳には自分たちの体のためにも大切な栄養がたくさんある。」

体験の後に

- ・体験したことや農家の人の話、自分でその場で調べたことを基に、学習シートや振り返り作文などの表現活動によって、学んだことを食育の観点で明確にさせる。
- ・給食をはじめ、望ましい食習慣に向けて、今後、生活の中で実践する自分なりの目標を考えさせたり、実現に向けて話し合ったりさせる場をもつ。

○「体験学習の前に」
体験学習の場がより
充実した学びの場と
なるように、問題意
識を高めたり、興味
・関心を高めたりす
る学習活動例を記し
ています。

○「アグリパークでの
体験学習」
まず、体験活動を行う
時に子どもたちがもっ
ている課題やねらいの
例を記しています。次に、
体験学習の一連の流れ
や、学習のポイント
などを記しています。
最後に、この学習を通
して子どもたちにかか
せたいまとめのメモ例
を記しています。

○「体験学習の後に」
体験学習の場での学
びをより深めていくた
めの学習活動例を記
しています。

○「本時のねらい」

体験学習時のねらいを子どもの具体的な姿で記しています。

プログラムの見方③〈4ページ目について〉

5 本時の展開例(135分=3時間)

学習活動	教師(T)・指導員(I)・子ども(C)・専門家(P)	指導上の留意点
①今日の学習課題をつかむ (15分)	T:学習課題を確認し、インストラクターを紹介する。 I:活動の流れと目的、注意事項を説明し、見通しをもって安全・安心に活動に臨めるようにする。	・視覚情報を用いて説明し、どの子どもにも理解できるようにする。
②牛乳に関する4拓クイズ、牛乳に関する自然の恩恵に関する話を聞く (20分) (畜舎学習室)	I:「私たちが飲んでる牛乳は()が()のために出している」という文を提示し、()の言葉を考えさせる。 C:最初は「牛」次は「私たち」かな? I:お乳を出してくれる牛は?①すべての牛②オスの牛③メスの牛④お母さんの牛 C:メスの牛かな、お母さんの牛かな? C:ということは、赤ちゃんのために出しているのかな P:子牛に飲ませるための乳を人間が分けてもらっていること、1年中牛乳を得るために、乳牛は子牛を産むように人間によって管理されていることを子どもに話す。 I:一頭の牛さんから、1日にお乳はどれくらいとれるでしょうか。①みんなが飲む牛乳パック約10人分②約100人分③約1000人分? C:100人分くらいかな?	①畜舎内では、大きな声を出さないことを確認する。 ・給食で飲んでる牛乳と関連づけながら発達段階に応じたクイズを行い、牛や搾乳への関心を高める。
③一人一人搾乳体験をする。子牛とふれあう (70分) (畜舎)	〈活動1〉搾乳のイメージをつかむ I:搾乳までの諸注意、手の消毒、しぼり方を練習させながら説明。 C:握り方はこうするのか。上手くお乳が出るかな。 〈活動2〉搾乳をする I:子どもの脇につき、注意や補助をする。 C:おっぱいは、温かいなあ。 C:ジューって出てきたよ。飲んでみたいなあ。 〈活動3〉子牛とふれあう C:かわいいなあ。お乳を分けてくれてありがとう。 〈その他活動例〉 ・機械による搾乳を見る ・牛の体しらべ、畜舎の道具、牛乳ができるまで等のクイズに取り組む	※牛の生命の営み(自然)のなかから牛乳という恩恵を得ていることを実感をもたせてわからせるように、酪農家から、発達段階に応じた内容で語ってもらう。 ・事前にこれから実際に搾る量と比べよう促す。 ・自分が何搾乳できたか、みんなで合計どれだけ搾乳できたか分かるようにし、搾ったお乳を大切に扱う気持ちと結びつくようにする。 ・搾乳の本体験まで時間差が生じることから、関連するクイズを用意する。
④牛の飼育の仕方や牛乳の栄養、製造過程等について質問する。牛乳をいただく。牛乳を飲む子牛をみる。 (30分) (畜舎・学習室)	I:牛や牛乳に関する質問を受け答える。 C:しぼられたお乳は、どうなっていくのかな。 C:牛乳は体にどんないいことがあるのかな。 C:上級クイズに挑戦して、牛乳博士になるぞ。骨にいいって聞いたことあるな。あってるかな? C:何か、今日の牛乳はおいしい感じがするね。 C:牛さんお乳を分けてくれて、ありがとう。これからは大切に飲むよ。 T:学習をまとめ、まとめメモを書かせ、インストラクターへお礼を述べる。	①試飲前に手洗いを徹底させる。 ・今日の学習を振り返り、母牛への感謝の言葉を子どもから引き出し、感謝の気持ちで牛乳が飲めるようにする。 ・子どもたちが搾った乳を子牛が飲む様子を見られるようにする。

6 体験学習の評価例

観点	評価規準	評価方法
集団生活や生活への関心・意欲・態度	・乳牛や牛乳に関する仕事する人への感謝の気持ちをもつ。 ・栄養の視点から自分の食生活について考えようとする。	行動観察 振り返り作文
集団の一員としての思考・判断・実践	・牛乳のもつ栄養から、食品や食生活のことを考えることができる。	振り返り作文
集団活動や生活についての知識・理解	・牛乳に関する自然の恩恵のことが分かる。 ・牛乳の製品になるまでの過程や栄養についてが分かる。	行動観察 振り返り作文

○「体験学習の評価例」

観点別の評価規準を子どもの具体的な姿で表し、その評価方法も記しています。

小学校は1単位が
45分間、中学校
は50分間の授業
時間となっています。

○「本時の展開例」

・「学習活動」
主な学習活動と所要時間を順番に記しています。

・「教師・指導員・子ども・専門家」

インストラクターや専門家、教師がどのような指示や問い掛けを行い、それにに応じて子どもがどのように反応するかの予想を例示しています。

・「指導上の留意事項」

体験が、確かな学びとなるためのポイントを記しています。そのほか、安全への配慮について②で記しています。

③おやさいマジック (パーティー編)

- ・未来へのストーリー ★★★★★
- ・命のストーリー ★★★
- ・郷土愛のストーリー ★★★★★

・実施期間	6月中旬～7月下旬
・1班最大人数	30人(最大人数120人)
・費用	260円/人

魂 自分が育てる (収穫する・見学調査する)

おいしい野菜に育てるためには、どんな世話(工夫)をすればいいのか。(野菜の観察時)

①野菜観察その1

(自分が育てている野菜と同じ野菜)

②野菜観察その2

(野菜オリエンテーリング・収穫)

ぼくのより、実が大きい。茎も太いし背が高い。肥料の違いかな? どうしてですか?

肥料だけでなく土を…。

おいしそうだな。私たちの班のピザにトッピングしましょうよ。

オクラ初めて見たよ。ツーンと上向いているよね。

体験活動

確かな学び

プログラムを考えた専門家の人たちと学校の先生たちから

○小学校1・2年：生活

- ・自分たちの野菜とアグリパークの野菜を比較して違いを見付け、自分の野菜をもっと大きく育てる方法を考えることができます。また、自分が育てている野菜以外にも、多様な種類の野菜があること、その野菜の色や形、味など、観察や食する体験を通して、季節を感じ取っていきます。
- *生活の内容(7)「動植物の飼育・栽培」
- ・自分が栽培した野菜や収穫した野菜を使って、友達と協力してピザ作りをする体験を通して、がんばって育ててきた自分に気付いたり、友達と協力することができるようになった自分に気付いたりします。これにより、これからも意欲的に生活しようとする気持ちを高めていくことができます。
- *生活の内容(9)「自分の成長」

学習指導要領上の位置付け

自分が消費する (加工する・調理する・飲食する・作品にする・見学調査する・発表する)

おいしいピザをつくるには、どんな工夫をすればいいのか。(ピザづくり時)

③ピザづくり

〇〇さんの育てたピーマンを置いたら、次に。

私が〇〇を切っています?

仲良くピザ作れたし収穫したての〇〇も入れて美味しいね。

④お礼のえさやり

牛さんのミルクが、チーズになるんだね。おいしいピザが作れるのも牛さんのおかげだね。

牛さんありがとう!

農家の野菜の観察や収穫体験の学びの可能性

- 野菜を栽培していく際の農家の工夫や努力に関連付けて学習を構成していくならば…
- *小学校5年社会 (2)「我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連」ウ
- *小学校3・4年社会(2)「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」イ
- そのほか、循環型の農業などをテーマに学習活動を構成するならば総合的な学習の時間に、収穫、調理、えさやり、堆肥作りなど、一連の活動を追究の場面などに、活動を位置付けていくことができます。

実践例 「おやさいマジック (パーティー編)」

1 関連する単元名 小学校2年 生活 「わたしたちのやさいばたけ」(16時間)

2 関連する単元の目標

- 野菜を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や生長の様子、生命をもっていることに気付くとともに、野菜を大切に育てる気持ち、ありがたくいただく気持ちをもつことができる。
- 友達と自分の役割を果たしながら仲良く活動し、意欲的に生活することができる。

3 関連する単元の流れと体験学習の位置付け

(1) やさいをそだてよう(1時間)

- 知っている野菜、育てたい野菜について話し合う。

(2) さあ、そだてるぞ(3時間)

- 個々に育てる野菜を決め、野菜栽培への気持ちや思いをカードに書く。
- 野菜に詳しい人(「野菜の先生」)に教わりながら、土作りや畑の耕し作業を行う。
(※アグリパークで土作りを行う場合:「おやさいマジック(命の源、土作り編)」参照)
- 野菜の苗や種を植える。

(3) 大きくそだて(5時間)

- 野菜の世話をし、その様子をカードに書いたり報告し合ったりする。
- 野菜の世話、病気や虫など野菜の心配事について「野菜の先生」に話を聞く。
- 野菜(植物)も自分と同様に生長することや生命があることを、野菜の世話カードに書いたことをもとに整理する。

(4) アグリパークでやさいを見よう、食べよう(6時間)

- どうしたら一層よい野菜を育てることができるかという学習課題を作り、それを解決するためにアグリパークへ行って学習することなどを確認する。
- 自分たちが作っている野菜をもとに、ピザ作りの班を決め、役割や手順を確認する。

体験の前に

学習課題例

おいしい野菜に育てるためには、どんな世話(工夫)をすればいいのか。(野菜の観察時)

おいしいピザをつくるには、どんな工夫をすればいいのか。(ピザづくり時)

アグリパークでの体験活動 <4時間>

①学校産とアグリ産 → ②野菜オリエンテ → ③野菜の収穫体験 → ④調理食味体験 → ⑤えさやり体験の野菜食べ比べ → リング

まとめのメモ例

「トマトは水やりをやりすぎない。ナスは朝夕たっぷり水をあたえる。」(野菜の観察)
「やくめとじゅんばんをまもる。じゅんばんにきったやさいをおく。」(ピザづくり時)

体験の後に

- アグリパークで教わったこと、確認したこと(よりよい育て方、なかよく活動する秘訣等)をカードにまとめる。

(5) できた、わかった、もっとやってみたい(1時間)

- 表現してきたものをもとに、活動を振り返り、がんばってきたこと、できるようになったこと、分かったこと、もっとやってみたいことなどを話し合う。 → 秋植え野菜の栽培へつなげる。

4 本時のねらい

- よりよい野菜を収穫するための野菜の育て方を指摘することができる。
- 友達と協力し合ってピザを作ることができる。

5 本時の展開例(180分=4時間)

学習活動	教師(T)・指導員(I)・子ども(C)	指導上の留意点
①学習課題をつかむ(10分)	T:学習課題を確認し、インストラクターを紹介する。 I:野菜畑の観察・収穫、ピザづくり、えさやりの活動の一連の活動と注意事項を説明する。	・活動の流れと目標を示し、活動に見通しをもたせる。
②自分が育てた野菜と同じ野菜を観察し、違いをとらえる(30分)	I:子どもたちに野菜を観察させ、アグリパークにある野菜と子どもたちが育てた野菜との違いについて問う。 C:ぼくのトマトは、こんなに大きくない。茎も太いし丈背も僕より高い。土の違いかな? C:わたしの実にはひびがあるけど、ここには全然ない。 I:児童の疑問に応じて、よりよい収穫のための世話の仕方を説明する。 C:なるほど、水のやり方や根っこを広がるように、工夫がいるんだね。肥料だけでないのか。	・多様な感覚を働かせて観察させるようにする。 ・同じこと、違うことを整理して表に示すなどの工夫をして、子どもたちがとらえたことを分かりやすくする。 ・野菜畑ごとに専門家を配置する。 ・疑問にすぐに答えるのではなく予想させたり考えさせたりする。
③アグリパークにある様々な野菜の種類や特徴をとらえる。ピザ作りに必要と思う新鮮な野菜を探して収穫する(30分)	I:野菜オリエンテーリングカードを配付し、クイズ等に答えながら、畑を巡ることを説明する。 C:このとげは何のためにあるのかな? C:まっすぐな形の方がおいしいのかな?それとも形は味に関係ないのかな。 C:とげは、動物とかに食べられないためなんだね。 C:新鮮でおいしい◇◇が、分かったよ。みんなでよく見て、一番いいのを採ろう。	・野菜畑ごとに専門家を配置し、児童の疑問に答えるとともに、クイズの回答、説明をできるようにする。 ④野菜をいためたり勝手にとったりしない、畑の中を走らないことなどを確認する。
④班で協力してピザを調理し食べる(60分)	ピザ作りのねらいや役割分担について説明する。 I:包丁など基本的な道具の扱い方や衛生面等についてしっかりと指導する。 C:初めてだけど注意しながら、ぼくにもできそうだ。 I:1個ずつ切った野菜を順番にトッピングするやり方はすごくいいね。 C:順番に置くやり方を発明してよかったなあ。 C:がんばって育ててきたから、おいしいね。	④安全の徹底のため、班ごとに補助者を付けたり、視覚的な教材を準備したりする。 ・協力して調理や後片付けをできるように支援したり、具体的にほめたりする。
⑤感謝の気持ちで、えさやりをする(50分)	I:肥料にかかわるサイクルについて説明し、野菜のお裾分けをして感謝することを確認して、エサやりを行わせる。 C:牛さん、ぼくの作った野菜食べてね。ありがとう。 T:まとめのメモを書かせ、発表させた後、インストラクターへお礼を述べる。	・「おやさいマジック(命の源、土作り編)」を実施していない学校は、⑤のえさやりを省略する。

6 体験学習の評価例

観点	評価規準	評価方法
生活への関心・意欲・態度	・野菜に興味をもって観察したり、すすんで収穫したりしている。 ・野菜の生長に役立ってくれた牛や、お手伝いしてくれた人に感謝の気持ちをもって接している。 ・友だちと考えを出し合っておいしいピザを作る。	活動の様子 振り返りカード
活動や体験についての思考・表現	・ピザづくりに必要な量の野菜をよく観察しておいしそうなものを選び、収穫している。	活動の様子 振り返りカード
身近な環境や自分への気付き	・自分の野菜とアグリパークの野菜とを比べて生長や味の違いなどに気付く。 ・自分たちの育てた野菜を味わい、これまでがんばって育ててきた自分の良さや成長などに気付く。	活動の様子 振り返りカード

⑩中学校アグリパーク・ツアーズ～宿泊編

- ・未来へのストーリー ★★★★★
- ・命のストーリー ★★★★★
- ・郷土愛のストーリー ★★★

～(1日目)

- ・実施期間 通年
- ・費用 1メニュー 無料～440円/人

が魂 自分が育てる（植える・世話する・採取する・収穫する・見学調査する）➡

よりよい集団になるために、ルールを守り、友だちと協力してアグリパーク・ツアーズをやりとげよう。

① 循環型農業オリエンテーリング
牛のつめは二つに割れていることが分かったよ！

② 農業道場
搾乳・世話

③ A 搾乳と試飲・

③ B 野菜の収穫とアグリ窯ピザ作り・試食(上級編)
野菜の収穫

自分が消費する（加工する・調理する・飲食する・見学調査する・作品にする）

*活動内容は、人数により様々な活動を組み合わせることができます。ここに示したのは一例です。

世話 ➡ 牛乳の試飲

➡ ピザ作り・試食

④ 農業夜話
農業で生きるというのは大変だけど、生きがいがあるねー。

学習指導要領上の位置付け

確かな学び
プログラムを考えた専門家の人たちと学校の先生たちから

○中学校全学年：特別活動〔学校行事〕

- ・豊かな自然や農業文化に触れる体験を通して、学校の学習活動を充実発展させたり、人間関係など集団のあり方について学び、互いに協力し、思いやる態度を育てたりすることができます。
- *特別活動〔学校行事〕の内容(4) 旅行・集団宿泊的行事
- ・実際に農業体験を行ったり、農業に従事する人々と接したりすることにより、子どもたちに勤労の尊さと生産の喜びを体得させることができます。
- *特別活動〔学校行事〕の内容(5) 勤労生産・奉仕的行事

アグリパークでの宿泊農業体験の学びの可能性

○年度初めの学級づくり、学年づくりのための効果的な手立てとして宿泊農業体験学習を活用することができます。いわゆる「同じ釜の飯を食う」という活動を野菜の収穫・調達、下処理、調理、会食、後片付けを共同で行うことにより、学級・学年の一員としての人間関係を作るための大切な経験とすることができます。さらに、夏休み明けなど人間関係に不適応を起こしやすい時期に、生徒自身が学級及び学年の人間関係を見直し、自分の在り方を再確認するためには、共に汗を流して農業体験、食品加工体験をしたり、共に食卓を囲んだりする活動は非常に大切なものとなります。

* 中学校全学年特別活動〔学校行事〕(4) 旅行・集団宿泊的行事

⑩中学校アグリパーク・ツアーズ～宿泊編

- ・未来へのストーリー ★★★★★
- ・命のストーリー ★★★★★
- ・郷土愛のストーリー ★★★

が
魂

自分が育てる（植える・世話する・採取する・収穫する・見学調査する） ➡

よりよい集団になるために、ルールを守り、友達と協力してアグリパーク・ツアーズをやりとげよう。

① 朝飯前の活動

朝みんなで農作業すると気持ちいいね。



② A 野菜の収穫と調理

野菜の収穫



② B 野菜の収穫とカレー作り

野菜の収穫



作る調理にあわせて、野菜を収穫するというのが、本当のご馳走の意味なんだね。

体
験
活
動

学
習
指
導
要
領
上
の
位
置
付
け

確かな学び

プログラムを考えた専門家の人たちと学校の先生たちから

○中学校全学年：特別活動〔学校行事〕

・豊かな自然や農業文化に触れる体験を通して、学校の学習活動を充実発展させたり、人間関係など集団のあり方について学び、互いに協力し、思いやる態度を育てたりすることができます。

*特別活動〔学校行事〕の内容（4）旅行・集団宿泊的行事

・実際に農業体験を行ったり、農業に従事する人々と接したりすることにより、子どもたちに勤労の尊さと生産の喜びを体得させることができます。

*特別活動〔学校行事〕の内容（5）勤労生産・奉仕的行事

※このプログラムは小学校、特別支援学校でも実施できます。詳しくはP12～15をご覧ください。 <アグリパーク> ~ (2日目)

- ・実施期間 通年
- ・費用 1メニュー 無料～440円/人

自分が消費する（加工する・調理する・飲食する・見学調査する・作品にする）

*活動内容は、人数により様々な活動を組み合わせることができます。ここに示したのは一例です。

調理



カレー作り

みんなで協力して材料を集めて、調理して、みんなで食事すると、とっても美味しいね。

③生ゴミが奇跡を起こす！



野菜くずはゴミではないんだね！

アグリパークでの食材の調達、下処理、調理、会食体験の学びの可能性

○中学校技術・家庭の「B食生活と自立」の学習を、アグリパークの宿泊農業体験学習として実施することも可能です。栄養素に注意して1日3食の献立を作り、食材を直売所から調達し、日常食の調理を行い、会食をするという一連の活動を通して、自分の食生活を見直したり、食生活に関心をもったりすることができます。また、専門家の方を講師に招いた講演を聴くことにより、新潟や日本全体の食文化を見直し、自分の食と健康、そして食文化について自分なりに考えていこうとするきっかけにすることができます。

*中学校技術・家庭〔家庭分野〕B食生活と自立

実践例 「中学校アグリパーク・ツアーズ（宿泊編）」

1 関連する単元名 中学校全学年 特別活動〔学校行事〕
「アグリパーク・ツアーズ（宿泊編）」〈1泊2日〉

2 関連する単元の目標

- ・アグリパークで新潟の農業・農産物加工・食に触れる体験等を通して、学校における学習活動を充実発展させたり、集団活動を通して、教師と児童、児童相互の人的な触れ合いを求めて楽しい思い出を作ったりするとともに、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、自分自身を見直すとともに、互いに思いやり、共に協力し合ったりするなどの人間関係を築く態度を育てる。

3 関連する単元の流れと体験活動の位置付け

(1) アグリパーク・ツアーズ ～宿泊編～ (14時間)

体験の前に

- ・新潟市南区の自然条件や地理・経済・歴史、及びアグリパークの施設などを調べ、アグリパークに対する期待を高める。
- ・キャリア教育の観点から農業を体験する意味を考える。
- ・集団宿泊行事のめあてを確認する。
- ・宿泊班・オリエンテーリンググループ等、活動する班を編成し、役割を分担する。
- ・参加する体験学習を選択し、グループ編成し、役割を決める。
- ・健康、安全面の確認事項を徹底する。

学習のめあて例

よりよい集団になるために、ルールを守り、友達と協力してアグリパーク・ツアーズをやりとげよう。

アグリパークでの体験学習（1泊2日）〈12時間〉

■第1日

朝：学校集合 → バスで学校出発
午前：入村式 → 午前の活動 → 昼食
午後：午後の活動 → 入浴 → 夕食 → 夜の活動 → 就寝

■第2日

午前：朝飯前の活動 → 朝食 → 午前の活動 → 昼食
午後：午後の活動 → 退村式 → バスでアグリパーク出発 → 学校着
*各活動は次ページから選択して構成する。

まとめのメモ例

「新潟市の農業が全国的に高い評価を得ているのは、過去から現在までの農家の方々が工夫を続けてきたからです。」
「助け合って農業体験をすると、他人の立場に立つということが分かったような気がした。」

体験の後に

- ・体験したことを基に、ファシリテーションを行ったり、振り返り作文やアグリパーク新聞、ポスターなどの表現活動によって学んだこと明確にしたりして、学校生活に生きるようにする。
- ・アグリパークで学んだ協力の仕方、人間関係の作り方などを、学校生活に活かすには、どうするか考え、作文に書く。

「1行メモ」を重視する「アグリパーク・ツアーズ」

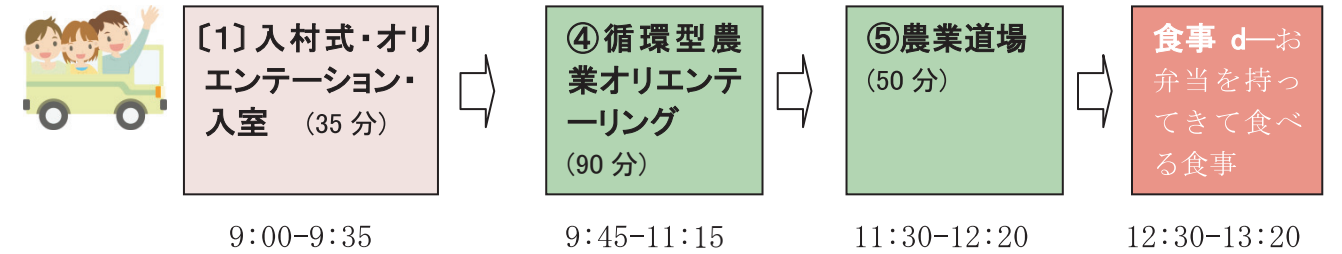
「アグリパーク・ツアーズ」では、それぞれの学習の最後に必ず「1行メモ」の言語活動を位置付けています。これは、活動で感じたことや、活動をして分かったことを言語化させることにより、自らの思考の跡を振り返らせ、何を学んだかを確認させるためのものです。学校へ帰ってから作文を書かせたり報告文を書かせたりする言語活動は重要ですが、活動直後の言語活動でしか得ることができないものがあります。私たちは、そのようなみずみずしい言語活動を大切にしていきたいと考えています。

生徒の実態や活動の内容、教師の意図によっては、「1行メモ」だけでなく、「2行メモ」「3行メモ」「1文メモ」というように、変更して働き掛けてください。

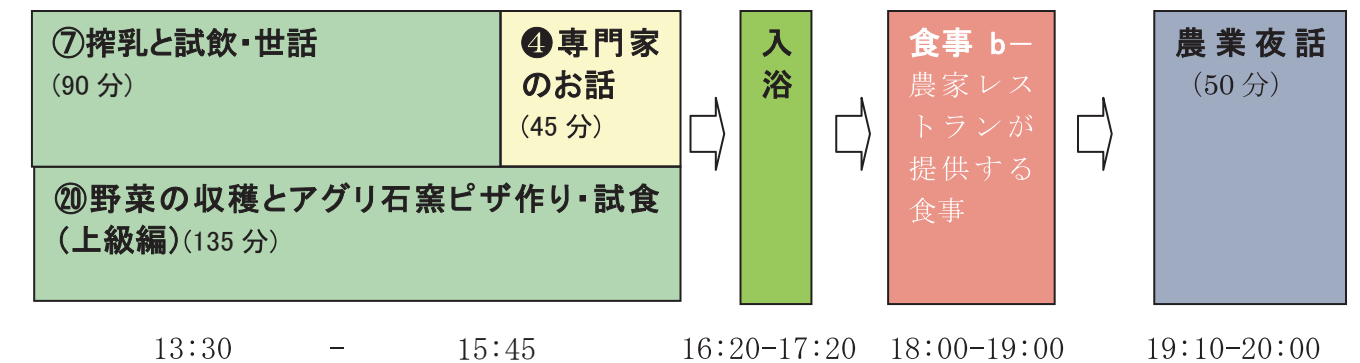
4 体験活動を選択し組み合わせた学習活動例 ※組み合わせる体験活動はP12～15参照

第1日

午前の活動

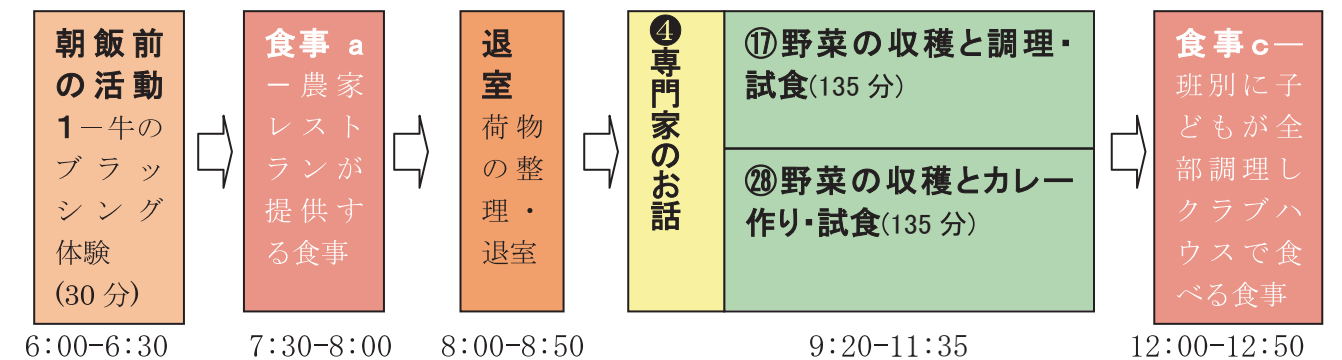


午後の活動

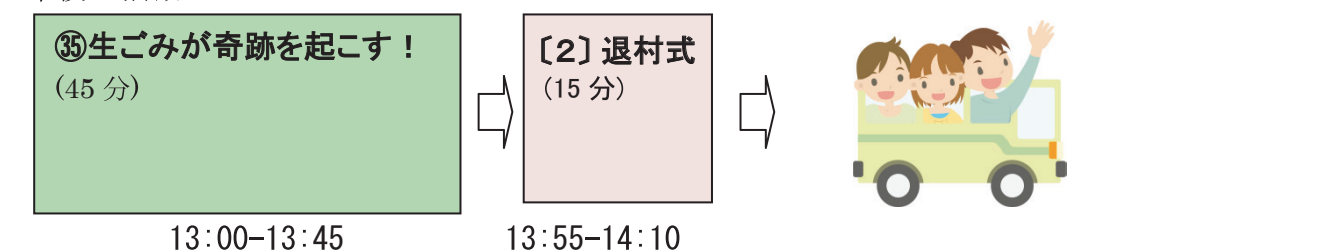


第2日

午前の活動



午後の活動



資料1 学年・時期別体験学習プログラム一覧(小学校)

<単元名等の見方>
 小ア① ・小…小学校(プログラム実施対象)
 ・ア…アグリパーク(プログラム実施場所)
 (い…いくとびあ3施設 農…農家 田…学校教育田 園…学級園)
 ・①…プログラム番号

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1年	小ア① そうだったの!土のひみつ(生活)					
	小い② 動物さんたち何をしているの?(図画工作)					
2年	小い① めざせ!花いくミニマスター!(生活)					
	小ア② おやさいマジック ~命の源、土作り編~(生活)		小ア③ おやさいマジック ~パーティー編~(生活)		小ア④ まるごとかんじて ストロベリーデイ!(生活)	
	小い② 動物さんたち何をしているの?(図画工作)					
3年	小ア⑤ かしこい消費者になろう「見直そう」わたしたちの買い物(社会) 小ア⑥ かしこい消費者になろう「調べようものを作る仕事」(社会)					
	小ア⑦ 新潟おいしい 果物物語					
	小農① そうだったの冬咲きチューリップの秘密(社会)					
	小農② おいしい柿づくりのひみつ(社会)					
4年	小ア⑧ 季節によって違うのですか?(理科)					
	小ア⑨ 昔の泥田に入ろう(社会)			小ア⑩ 果樹園は どんな場所?		
	小園① 教材園に今日行く、明日行く、共に育~ヘチマ栽培~(理科)					
	小園④ 生ごみが奇跡を起こす!ごみは、ごみじゃない!(理科)					
5年	小ア⑪⑫⑬ にいがたお米 NO1(社会:アグリ教育田の活用) 小田①②③ にいがたお米 NO1(社会:学校田の活用) (1)田植え編 (2)草取り編 (3)稲刈り編					
	小ア⑭ おいしさの秘密を探せ ~野菜と家畜から学ぶ 生命の循環~(社会)			小ア⑯ そうだったの! めしべの秘密		
	小ア⑮ 畜産農家の工夫を探そう(社会)					
	小ア⑰ 稲も家畜も、私たちのために(総合)					
	小ア⑱ 考えてみよう!米粉からお米のこと(総合)					
	小い④ つくって学ぶいのち(総合)					
6年	小ア⑰ ありがとう、いただきます ~家畜から学ぶいのちのあたたかさとながら~(理科)					
	小ア⑲ まかせてね、今日の食事 ~アグリ定食を作ろう~(家庭)					
	小ア⑳ ありがとう、いただきます ~道徳編~(道徳)					
	小い⑥ ペットの幸せ~動物愛護・ふれあいセンターの取組(特別活動・道徳)					
	小い⑦ 卒業に向けて~台所でひとり立ち~(総合)					
	小園② SV(School Vegetable)カレー de おもてなし(「学校菜園」を活用した一年間の取組)					
	小園③ 伝統野菜を、育てて食べちゃおう(「学校菜園」を活用した一年間の取組)					
全学年 共通	小ア⑳ 見つめて感じて ~動物となかよし~(図画工作)					
	小ア㉒ 大豆は、ホントに大事な豆(3~5年総合)					
	小ア㉔ そうだったの!牛乳に秘められた命の恵み					
	小ア㉕ アグリパーク・ツアーズ ~日帰り編~					
	小ア㉖ アグリパーク・ツアーズ ~宿泊編~					
	小い③ 食育・花育センターの秘密(3~6年総合)					

10月	11月	12月	1月	2月	3月
小ア① そうだったの!土のひみつ(生活)					
小い② 動物さんたち何をしているの?(図画工作)					
小い① めざせ!花いくミニマスター!(生活)					
小ア② おやさいマジック ~命の源、土作り編~(生活)					
小ア③ おやさいマジック ~パーティー編~(生活)					
小ア④ まるごとかんじて ストロベリーデイ!(生活)					
小い② 動物さんたち何をしているの?(図画工作)					
小ア⑤ かしこい消費者になろう「見直そう」わたしたちの買い物(社会)					
小ア⑥ かしこい消費者になろう「調べようものを作る仕事」(社会)					
小ア⑦ 新潟おいしい 果物物語					
小農① そうだったの冬咲きチューリップの秘密(社会)					
小農② おいしい柿づくりのひみつ(社会)					
小ア⑧ 季節によって違うのですか?(理科)					
小ア⑨ 昔の泥田に入ろう(社会)					
小ア⑩ 果樹園は どんな場所?					
小園① 教材園に今日行く、明日行く、共に育~ヘチマ栽培~(理科)					
小園④ 生ごみが奇跡を起こす!ごみは、ごみじゃない!(理科)					
小ア⑪⑫⑬ にいがたお米 NO1(社会:アグリ教育田の活用) 小田①②③ にいがたお米 NO1(社会:学校田の活用) (1)田植え編 (2)草取り編 (3)稲刈り編					
小ア⑭ おいしさの秘密を探せ ~野菜と家畜から学ぶ 生命の循環~(社会)					
小ア⑯ そうだったの! めしべの秘密					
小ア⑮ 畜産農家の工夫を探そう(社会)					
小ア⑰ 稲も家畜も、私たちのために(総合)					
小ア⑱ 考えてみよう!米粉からお米のこと(総合)					
小い④ つくって学ぶいのち(総合)					
小い⑤ めざせ!和食で“家 庭遺産”@いくとびあ食花(家 庭)					
小ア⑲ まかせてね、今日の食事 ~アグリ定食を作ろう~(家庭)					
小ア⑳ ありがとう、いただきます ~道徳編~(道徳)					
小い⑥ ペットの幸せ~動物愛護・ふれあいセンターの取組(特別活動・道徳)					
小い⑦ 卒業に向けて~台所でひとり立ち~(総合)					
小園② SV(School Vegetable)カレー de おもてなし(「学校菜園」を活用した一年間の取組)					
小園③ 伝統野菜を、育てて食べちゃおう(「学校菜園」を活用した一年間の取組)					
小ア⑳ 見つめて感じて ~動物となかよし~(図画工作)					
小ア㉒ 大豆は、ホントに大事な豆(3~5年総合)					
小ア㉔ そうだったの!牛乳に秘められた命の恵み					
小ア㉕ アグリパーク・ツアーズ ~日帰り編~					
小ア㉖ アグリパーク・ツアーズ ~宿泊編~					
小い③ 食育・花育センターの秘密(3~6年総合)					
(特別活動:学級活動[共通事項]) ※ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成					
(特別活動:学校行事[遠足・集団宿泊的行事]) ※ 学校の希望により、多様な農業体験学習や農業体験を選択することが可能					
(特別活動:学校行事[遠足・集団宿泊的行事]) ※ 学校の希望により、多様な農業体験学習や農業体験を選択することが可能					

資料2 学年・時期別体験学習プログラム一覧

(中学校・中等教育学校, 特別支援学校, 幼稚園・保育園, 適応指導教室)

中ア① ・中…中学校・中等教育学校 (プログラム実施対象)
 (特…特別支援学校 幼・保…幼稚園・保育園 適…適応指導教室)
 ・ア…アグリパーク (プログラム実施場所)
 (い…いくとびあ3施設 農…農家 田…学校教育田 園…学級園)
 ・①…プログラム番号

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
中学校 1年	中ア① 食素材の力を活かし、付加価値を高める ～新潟食農ブランドづくり～ (技術・家庭 家庭分野)					
	中ア② 協力し合い 苦手な野菜を克服しよう! (特別活動: 学級活動)					
中学校 2年	中ア④ ザ・野菜づくり! ～アグリで体験 生物育成と季節の食材の調理～ (技術・家庭技術分野、家庭分野)					
	中ア⑤ 農業が感動に変わる職場体験					
	中ア⑥ 新潟農業ヒストリー ～乾田化で都市化～ (総合)					
	中ア⑦ アグリビジネスを体験しよう ～仮想株式会社で企業体験学習～ (総合)					
	中ア⑧ 新潟はスウィーツ王国だ! ～地場産野菜の魅力を生かして～ (総合)					
中学校 全学年 共通	中ア⑨ アグリパーク・ツアーズ ～日帰り編～					
	中ア⑩ アグリパーク・ツアーズ ～宿泊編～					
	中い① 食花ハローワーク					
	中農① 日本で一番! アート園芸 (総合)					
	中農② 世界にプレゼン! ブランド新潟米 (総合)					
特別支援学校 小学部 全学年	特ア① あいこいこ! 『HOT ほっと』 あにまる					
特別支援学校 中学部 全学年	特ア② うれしいな! みんなと一緒に野菜作り! ～種まき・水やり編～ (学校行事)					
	特ア③ うれしいな! みんなと一緒に野菜作り!					
	特ア④ アグリツアーを成功させよう!					
	特ア⑤ アグリツアーを成功させよう!					
	特い① 植物にふれよう・つくろう～花びらが大変身～ (春編) (生活)					
	特園① さつまいもを育てよう・おいしく					
幼稚園 保育園	幼・保ア① 菌ちゃんはおともだち ～野菜くずでリサイクル					
	幼・保ア② 大豆の大変身					
	幼・保ア③ 牛さん					
	幼・保い① 朝ごはん					
	幼・保い② 植物の不思議					
	幼・保い③ 楽しく食べよう!					
	幼・保園① サツマイモ大好き (健康)					
	幼・保園② 菌ちゃん元気な野菜作り (環境)				幼・保園③ 何ができる	
適応指導教室	適ア① ふれあい交流会 (学校行事)					
【参考】 PTA	PTA行事 親子で菌ちゃんとお友達! ～野菜くずでリサイクル					

10月	11月	12月	1月	2月	3月
※ 適応と成長及び健康安全					
中ア③ Agrish Cooking! ～英語で郷土料理 in Agri～ (英語)					
学習! (総合)					
(特別活動: 学校行事 [遠足・集団宿泊的行事]) ※ 学校の希望により、多様な農業体験学習や農業体験を選択することが可能					
(特別活動: 学校行事 [遠足・集団宿泊的行事]) ※ 学校の希望により、多様な農業体験学習や農業体験を選択することが可能					
(総合)					
ZOO!! (生活)					
～収穫→調理 or 販売編～ (学校行事)					
～日帰り編～ (学校行事)					
～宿泊編～ (学校行事)					
特い① 植物にふれよう・つくろう～花びらが大変身～ (春編) (生活)					
食べよう (生活)					
元気野菜づくり～ (環境)					
～味噌の不思議～ (環境)					
ありがとう (環境)					
元気いっぱい (健康)					
～いろいろなものに変身～ (環境)					
～おいしく食べよう 朝ご飯～ (健康)					
のだらう? みんなで野菜作り! ～野菜で漬物づくり～ (環境)					
元気野菜づくり～					

※ 野菜の生育状況、動物の飼育状況により、プログラムの実施時期が変わったり、実施できなくなったりする場合がありますので、ご了承

ください。

資料3 アグリパークの概要

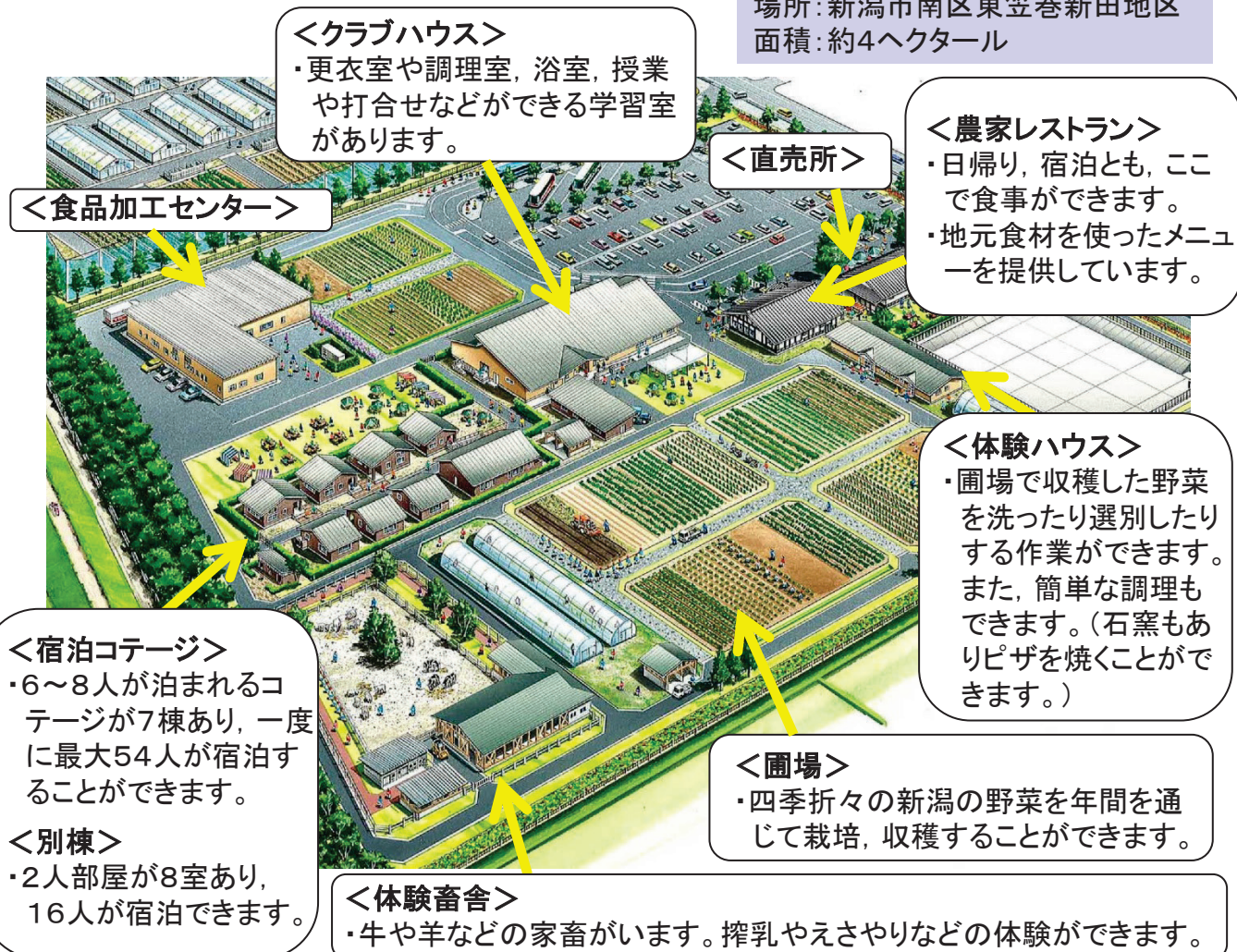
新潟市アグリパークは、農業に触れ、親しみ、学ぶ場を提供する、日本初の宿泊型公立教育ファームです。

園内では、農作物の栽培や収穫、家畜の乳搾りや餌やり、石窯を使ったピザ作りなどを体験できます。

また、学習指導要領に基づいた学習と農業体験が結びついた農業体験プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」を展開しています。

各学校からは、学習のねらいに応じてプログラムを選択的に実施してもらい、実感をともなった教科等の学習を進めてもらうとともに、友達との絆を深めたり、命の尊さや農業都市新潟のすばらしさに気付いたりする場として活用されることを期待しています。

場所：新潟市南区東笠巻新田地区
面積：約4ヘクタール



<お問い合わせ>
新潟市アグリパーク
〒950-1406 新潟市南区東笠巻新田3044
電話：025-378-3109
FAX：025-378-3096
メール：info@niigata-aguri.com
ホームページ：http://www.niigata-aguri.com

資料4 いくとぴあ食花の概要

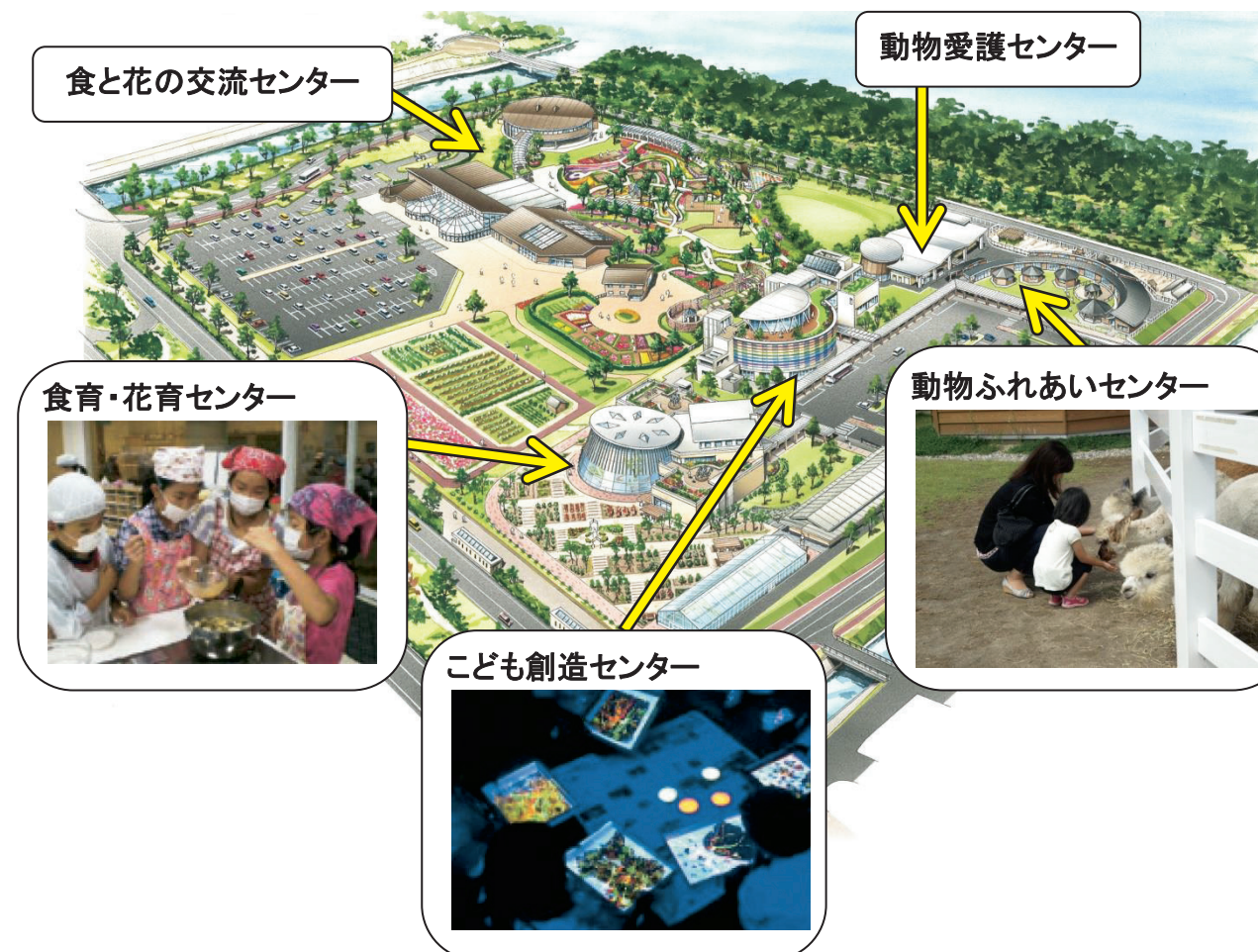
「いくとぴあ食花」は、都市と田園地帯が交わる鳥屋野潟のほとりに位置し、美しい風景や野鳥などの生き物を間近に観ることもできる憩いのスポットです。

新潟市が誇る食と花をメインテーマに、子どもから大人まで様々な体験と交流ができる施設がそろっています。そのうち、教育ファームを展開する3施設をご紹介します。

「食育・花育センター」は、「食と花」を一体的に学ぶことができる施設です。新潟の美味しさ、美しさ、豊かさを発掘する目を育て、心と身体の健康づくりを市民運動へと展開していく拠点施設です。

「こども創造センター」は、未来を担う子どもたちが、人との交流や創作活動・体験活動を通して、自分で考え、行動していく「自ら生きる力」を伸ばし、他者と協調しながら「共に生きる力」を育むための機会と場所を提供する拠点施設です。

「動物ふれあいセンター」は、アルパカ、カピバラ、ヤギ、ヒツジ、ウサギなどの動物が飼育されており、エサやりやふれあいなどの体験を通して動物への理解を深め、動物と人の関わりを学ぶことができます。



<お問い合わせ>
こども創造センター（いくとぴあ食花「団体利用」総合窓口）
〒950-0933 新潟市中央区清五郎375-2
電話：025-281-3715
FAX：025-281-3725
メール：info_kodomo@niigatamirai.com
ホームページ：http://www.ikutopia.com

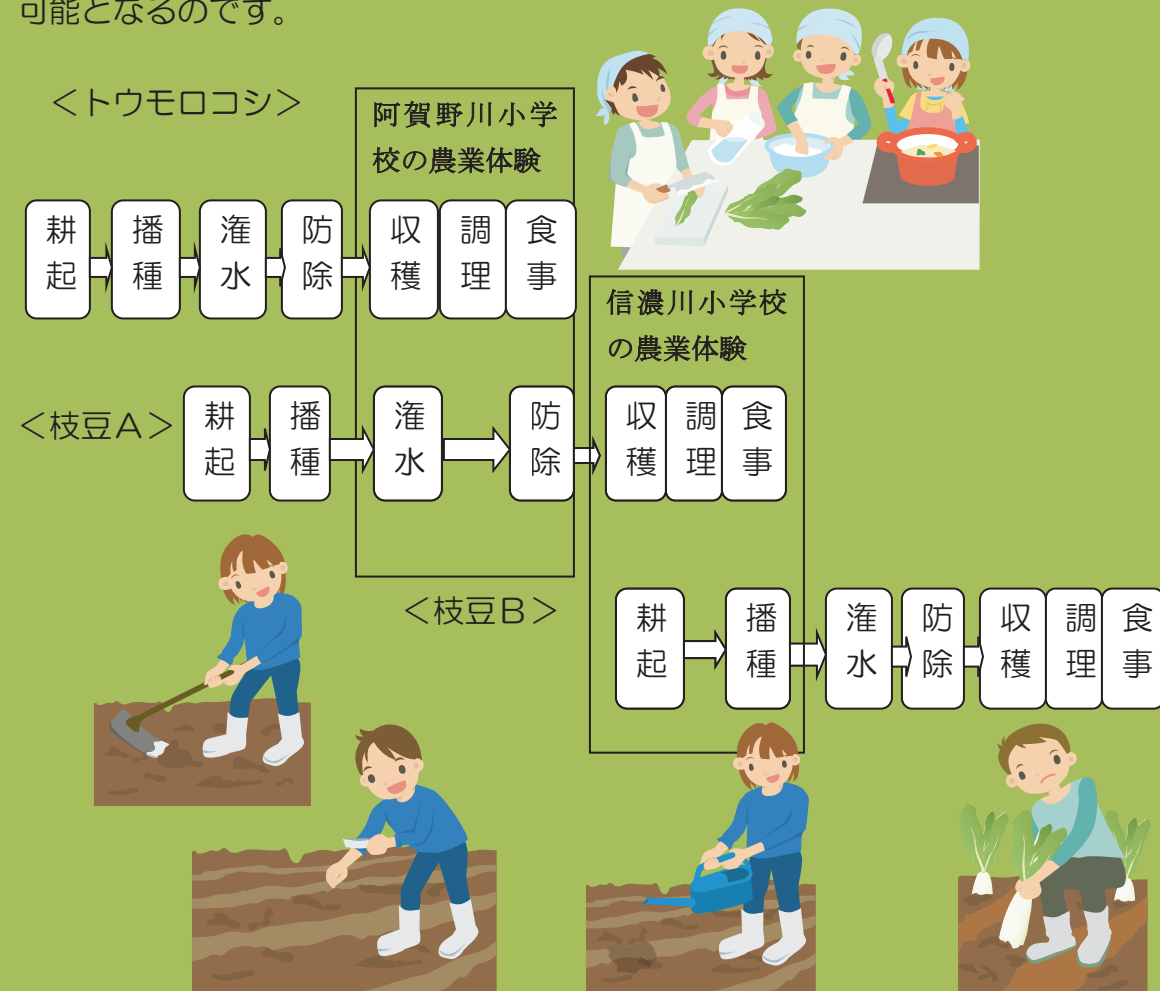
資料5「アグリ・リレー・プロジェクト」とは？

アグリパークは、子どもが耕起・播種・灌水・防除・収穫・食品加工・調理・食事等の農作業体験・食体験を行うことのできる施設です。子どもが、それら一連の体験を行い、学習に生かすことができれば、体験と知識を結び付けたすばらしい学びが実現できます。

しかし、授業時数の関係から全部の体験を継続して行うことは不可能です。

そのため、アグリパークでは、複数の学校がリレー形式で一つの農作物を育てる「アグリ・リレー・プロジェクト」というシステムを設けました。これは、A校が耕起した畑にB校が播種し、C校が灌水・防除し、さらにD校が収穫・調理して食するというものです。

このように、多様な農作物をリレー形式で栽培することにより、他の学校が育てた農作物を収穫させてもらい調理して食す代わりに、自分たちが灌水・防除して次の学校に収穫を委ねるなど、限られた時間で農業体験と食体験の両方を行うことが可能となるのです。



*畑には、農作業履歴（どこの学校がどのような農作業を行ってきたのか）を明示した立て札を立て、多くの学校がリレーにより農作物を育てる「アグリ」の輪を形成していることをアピールします。

スーパーマーケットやコンビニエンスストアの棚の前で子どもたちの姿を見かけると、いつも私は思います。棚に並べられたカット野菜のサラダパックの向こう側に、子どもたちはどこまで想像力を働かせることができるのだろうか。

キャベツの玉を切り分けるおばさんの包丁さばきや、青果市場のおじさんが運転するターレットトラックの音、キャベツを収穫する農家の人の汗、キャベツの種を蒔く人の眼差し、柔らかい土を作るために畑を耕すトラクターのハンドルを握る人の手、牛の糞をもとに作った肥料の色、母牛が子牛のために出した牛乳の温かさ、この世に生を受けた子牛の体を包む体液の輝き、生まれてすぐ母牛と引き離される子牛の鳴き声、母牛を妊娠させるための計画表を作っている人のパソコンを叩く音。そして、それぞれの人々や農作物、家畜をサポートする多くの人々を子どもたちは想像することができるのだろうか。

人々がつながりながら自然に働き掛けて創り上げた農作物は、私たちの口から食道・胃腸を通り、血液になって体中を駆け巡り、私たちと自然をつなげてくれます。そのために人々の工夫があり、熱意があり、苦労があります。それを可能にする組織があり、ビジョンがあり、システムがあり、その総体としての社会があります。しかしながら、現代はそれら一つ一つを具体的にみることができにくい時代です。それゆえ子どもたちは、分断された個別のものを目にしても、それらを結び付けて考え、人と人との関係や社会全体の構造を解き明かしていくことが不得意になっています。まさに、土からの分断、生産現場からの分断が、子どもの思考の分断を招き、社会や人からの分断に帰結しているのです。

子どもたちが、これからの世界を生き抜いていくためには、それら分断されたものをつなげる力、つなげて想像する力とつなげて説明する力が必要です。つなげることは、頭を耕すことであり、心を耕すことです。

私たちは「アグリ・スタディ・プログラム」で、「つなげる」ことを重視し、新潟市の子どもたちが農業のすばらしさに気付き、人との絆や命を大切にして、ふるさと新潟を愛し誇りに思うこと、そして持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決していく力を育成することを目指しました。そして、体験と知識をつなげるプログラム、生産と消費をつなげるプログラム、自分の生き方と労働をつなげるプログラム、環境のサイクルをつなげるプログラムを創ってきました。つなげる力を獲得した子どもたちが、より多くの人々とつながって未来の問題を解決することができるようになることを願って。

編集・執筆

編集

伊藤 充・岩崎道郎・田代 孝・田村 篤・伊藤紀幸

執筆

I 基本構想 (伊藤 充・岩崎道郎)

II 基本プログラム

1 小学校編

- (1) アグリパーク (伊藤真理・伊藤 充・岩崎道郎・川崎広之・小林厚司・清水良紀・関 卓二・田村 篤・中村 康・藤巻真紀)
- (2) いくとぴあ食花 (伊藤 充・岩崎道郎・上杉玲子・佐藤克彦・田村 篤・山田哲也)
- (3) 近隣農家 (川崎広之・田村篤)
- (4) 学校教育田 (中村 康)
- (5) 学校教材園 (佐藤克彦・田村 篤・中村 康・山田哲也)

2 中学校・中等教育学校編

- (1) アグリパーク (遠藤寿紀・大岩樹生・佐藤靖子・白石誠史郎・藤本洋則・保科賢一郎)
- (2) いくとぴあ食花 (保科賢一郎)
- (3) 近隣農家 (保科賢一郎)

3 特別支援学校編

- (1) アグリパーク (金澤 博・星 麻理・八木栄弥子)
- (2) いくとぴあ食花 (星 麻理)
- (3) 学校教材園 (星 麻理)

4 幼稚園・保育園編

- (1) アグリパーク (佐藤克彦・野澤州子・堀内澄江)
- (2) いくとぴあ食花 (青木かほる・植野浩之・星 千里)
- (3) 学校教材園 (小熊由美・佐藤博子・田口琢望・山崎貴志)

5 適応指導編 (岩崎道郎・本間寿美・渡辺 徹)

付) PTA編 (伊藤 充・佐藤克彦)

III 資料

(伊藤 充・岩崎道郎・川又健司・佐藤克彦)

なお「アグリ・スタディ・プログラム」改訂版の発行にかかわる業務は、農林水産部では佐藤克彦主査、伊藤紀幸アグリ・スタディ指導主事、上杉玲子嘱託職員、松田真理亜職員、教育委員会では伊藤充教育政策監、田代孝指導主事が担当した。